

藤沢市図書館資料収集方針

目次

1 基本方針	- 4 -
2 一般書.....	- 7 -
ア 総記.....	- 7 -
イ 哲学（哲学、心理学、倫理学、宗教）	- 10 -
ウ 歴史（歴史、伝記、地理、紀行）	- 12 -
エ 社会科学.....	- 13 -
オ 自然科学（数学、理学、医学）	- 26 -
カ 技術、工学	- 29 -
キ 家政学、生活科学	- 32 -
ク 産業.....	- 34 -
ケ 芸術、スポーツ	- 37 -
コ 言語.....	- 41 -
サ 文学.....	- 42 -
シ 外国語資料	- 45 -
3 参考図書	- 46 -
4 地域資料	- 49 -
（1）藤沢資料	- 49 -
（2）神奈川資料.....	- 61 -
5 市民文庫	- 76 -
6 特別コレクション	- 77 -
7 児童書.....	- 78 -
ア 絵本.....	- 79 -
イ 文学.....	- 80 -
ウ 昔話、神話、伝説	- 80 -

エ	ノンフィクション	- 80 -
オ	総記	- 80 -
カ	哲学（哲学、心理学、宗教）	- 81 -
キ	歴史（歴史、伝記、地理）	- 81 -
ク	社会科学（政治、法律、経済、統計、教育、民俗、軍事）	- 81 -
ケ	自然科学（数学、物理学、化学、天文学、地球科学、生物学、医学）	- 83 -
コ	技術（工学、工業、家政学）	- 85 -
サ	産業	- 86 -
シ	芸術	- 87 -
ス	言語	- 89 -
セ	地域資料	- 89 -
ソ	紙芝居	- 90 -
タ	まんが	- 90 -
チ	児童資料研究	- 91 -
8	ヤングアダルト資料	- 97 -
9	視聴覚資料	- 99 -
ア	映像資料	- 99 -
イ	録音資料	- 100 -
10	雑誌	- 103 -
11	新聞	- 104 -

藤沢市図書館資料収集方針

1 基本方針

藤沢市の図書館は、(1) 市民の幼児期から高齢期にいたるライフ・サイクル全体にわたる創造性豊かな自己教育の場であり、(2) 住民自治と地域文化の発展に寄与する自治体図書館として特色ある固有性に立脚し、(3) 情報化社会にダイナミックに対応する「教育・文化・情報のための民主的機関」（「ユネスコ公共図書館宣言」）である。

その図書館サービスは、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の民主的サービス原則によっておこなわれる。

この理念と原則をうけて、資料の収集は次の方針によっておこなう。

(1) 市民の要求に基づいて資料を収集する。

自治体図書館の任務は、「基本的人権のひとつとして知る自由を持つ市民に資料を提供する」ことが第一義である。したがって、資料の収集は市民の資料要求を収集の大原則とする。

ただし、一部の市民の要求だけでなく、広範な市民の要求、潜在している市民の要求、将来想定される市民の要求も十分に考慮して収集する。

なお、公共図書館として、この収集方針の範囲を超えていると思われるような資料の請求をうけた場合は、図書館の相互協力システムで他館から借用して提供するように努める

(2) 図書館システム全体として、各分野にわたり、必要な資料を広範囲に収集する。

ア 各市民図書館と各市民図書室の資料収集は、本方針に基づき施設の規模、地域性及び役割に応じた蔵書構成と利用状況に留意し、藤沢市図書館全体として体系的な資料収集を行う。

イ 総合市民図書館は藤沢市図書館の中心館として市民図書館（分館）が収集する資料のほか専門的図書、参考図書、地域資料その他市民図書館（分館）、市民図書室のサービスを補完する資料を収集する。

ウ 市民図書館（分館）は市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するための基礎的、入門的、一般的な資料を収集する。

エ 各市民図書館（分館）の特色として

(ア) 南市民図書館はサービスエリアに鵠沼、片瀬地区があるため、「海」に関する資料を収集する。

(イ) 辻堂市民図書館は市民の環境に対する関心が高いことから、「環境問題」に関する資料を収集する。

- (ウ) 湘南大庭市民図書館は市内でも緑豊かな地区で、緑の保全に関心の高いことから、「植物、園芸、自然保護」に関する資料を収集する。また、「市民文庫」「特別コレクション」に関する資料を収集する。
- オ 市民図書室は地域性に留意し、市民の教養、くらし、レクリエーション等に資する資料と児童書を中心に収集する。
- カ 複本は資料の価値、市民の要求、現在および今後の利用状況等を考慮して、適正な冊数を収集する。
- (3) 「藤沢市子ども読書活動推進計画」にしたがい、学校、幼稚園、保育園、児童館、地域子どもの家、地域文庫などの地域の「子どもの読書活動」を支援するための必要な資料を広範囲に収集する。
- (4) 特に藤沢に関する資料や、藤沢で刊行された資料は、積極的に収集する。（「藤沢資料」、「市民文庫」参照）
- (5) 資料は図書のほか、新聞、雑誌など逐次刊行物、パンフレット類、DVDやCDなどの視聴覚資料など多様な形態の資料を収集する。特に視聴覚資料は情報媒体が進化しているので、最新の媒体（ニューメディア）に留意する。
- (6) 「情報化の進展に伴い、電子媒体の利用を進め、印刷媒体とインターネット等による電子媒体を組み合わせ利用できる図書館（ハイブリッド図書館）を目指すことが緊急の課題となっている」（文部科学省「これからの図書館像」）そのため、印刷媒体だけでなく、電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）にも留意する。
- (7) すべての分野において「今」に対応する新鮮な資料を豊富に収集する。特に各分野の基本書は、最近の学問分野の動向や学説等を紹介した資料に留意する。
- (8) 文書館、教育文化センター、点字図書館、県立かながわ男女共同参画センター（かなテラス）、県立総合教育センター等、関係機関との連携、協力、役割分担を進めながら収集する。
- (9) 資料の選択にあたっては、次の点に留意する。
- ア 多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
- イ 著作者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除しない。
- ウ 図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。

- エ 個人、組織、団体からの圧力や干渉によって、収集すべき資料を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制をしない。
- オ 寄贈資料についても上記と同様である。
- カ 資料費や収蔵スペースに制約があることから、資料選択にあたっては次の点に留意する。
 - (ア) 日本図書館協会の選定図書（2016年3月をもって終了）
 - (イ) 新聞、雑誌等の書評に取り上げられたもの、紹介されたもの
 - (ウ) テレビ、ラジオ等のマスコミに取り上げられたもの、紹介されたもの
 - (エ) 市民から多数の予約が寄せられているもの、多くの利用が見込めるもの
 - (オ) 出版流通上、「図書館向き」と分類されたもの
 - (カ) 著者や版元がよく知られたもの
 - (キ) 市民のさまざまな課題解決に役立つもの

- (10) 以上のような収集方針で収集された資料がどのような思想や主張をもっていようとも、それは図書館および図書館員が支持することを意味しない。資料の持つ思想や主張は、読者であるひとりひとりの市民の自由な思索と判断にゆだねられる。そのためにも、図書館ではあらゆる思想・主張が共存するように、資料収集が行われねばならない。
- (11) 以上のような収集方針に基づいて、藤沢市の図書館の特色は、長い年月をかけて、形成されていくものである。
- (12) 収集方針は常に市民の議論の対象となるよう市民に公開し、より豊かで実質的な内容あるものとしていく。

2 一般書

- (1) 市民の教養、調査研究、レクリエーション等に役立つ資料を各分野にわたり、体系的に収集する。
- (2) 市内出身者、在住者等の著作は積極的に収集する。
- (3) 文庫、新書は出版点数が多いので、従来の経過から岩波文庫、岩波新書、東洋文庫は各分野の基本書として全点購入するが、他の出版社の文庫、新書は主題、内容や著者等を検討して個々に選択して収集する。
- (4) 各分野の資格取得等に役立つ実用書は積極的に収集するが、記入式の「問題集」は収集しない。
- (5) 外国語資料については「外国語資料」の項を参照。
- (6) 各分野の収集の考え方を『日本十進分類法新訂9版』の主題配列にしたがい、以下に記載する。
 - () 内の数字は分類表の分類番号である。

ア 総記

- (ア) 百科事典、年鑑、新聞等は、レファレンスに利用される頻度が高いため、豊富に収集する。新聞、雑誌の索引等は各種のデータベースや電子図書に留意する。
- (イ) 図書館に関する資料、関係機関に関する資料は積極的に収集する。
- (ウ) 書誌、目録類は各種のデータベースや電子図書に留意する。
- (エ) 「子どもの読書活動」に関連する、学校図書館や子どもの読書をテーマにした資料は積極的に収集する。
- (オ) 叢書、全集は、過去に比較的重点的に収集されていて、当図書館の特色のひとつであるので、今後も必要なものは収集する。
- (カ) 技術革新が著しく、社会的な影響も大きい情報科学は、最新の情報を積極的に収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 学問、学術（002）
 - ・ 最近の学問、学術の動向を紹介したものは積極的に収集する。

- 情報科学、コンピュータ（007）
 - ・ 基本的な技術書、実用書を収集する。
 - ・ 最新の主要な機種、システムについての技術書、実用書も収集する。
 - ・ 利用度の高いソフト（エクセル、ワード等）の技術書、実用書を収集する。
 - ・ 「情報技術者」など各種の資格取得に役立つ理論書、技術書、実用書を収集する。
 - ・ インターネットやインターネット検索の技術書、実用書を収集する。
 - ・ 技術書だけでなく、「情報化社会」「情報公害」「個人情報保護」「情報リテラシー」等、コンピュータと社会とのかかわりについて書かれたものにも留意する。

- 図書館（010）
 - ・ 図書館に関する資料は、積極的に収集する。
 - ・ 図書館界の最近の動向（ICT化、運営形態、課題解決型図書館等）に留意する。
 - ・ 「子どもの読書活動」との関連で、学校図書館に関する資料は積極的に収集する。
 - ・ 文書館、点字図書館など他の類縁機関に関する資料にも留意する。

- 読書案内、書評、読書の方法（019）
 - ・ 市民に多様な本の世界、本の読み方を紹介したものは、積極的に収集する。

- 児童読物、青少年と読書、絵本（019）
 - ・ 「子どもの読書活動」との関連で、子どもの本に関する資料は積極的に収集する。

- 著作権（021）
 - ・ 法改正とともに、社会的な関心をよんでいるので、積極的に収集する。
（「インターネットと著作権」「読書バリアフリー法と著作権」等）

- 編集（021）
 - ・ 市民がミニコミや同人誌、チラシなどを作る時に役立つ実用書を収集する。

- 出版（023）
 - ・ 図書館や読書の前提になる出版流通の諸問題について収集する。（「出版と自由」「検閲」等）
 - ・ 自分史や追悼録などを出版する市民のために「自費出版」に関する資料を収集する。

- 書誌類（02△）
 - ・ レファレンスに役立つものを収集する。
 - ・ 目録、索引類は印刷媒体から電子媒体に移行しつつある。電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。

- 蔵書目録（029）
 - ・ 蔵書目録は印刷媒体から電子媒体に移行しつつある。電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。
 - ・ 蔵書目録は資料的価値の高い印刷媒体で、電子媒体が公開されていない場合に限定して収集する。

- 百科事典（03△）
 - ・ レファレンスに役立つものを収集する。
 - ・ 印刷媒体の百科事典は、将来刊行される可能性が低いため、最新のもの購入する。
 - ・ 百科事典は印刷媒体から電子媒体に移行しつつある。電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。

- 年鑑（059）
 - ・ レファレンスに役立つものを収集する。
 - ・ 年鑑は印刷媒体から電子媒体に移行しつつある。電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。

- 博物館（069）
 - ・ 博物館に関する資料は、積極的に収集する。

- ジャーナリズム、新聞（070）
 - ・ マスコミ（361）とともに積極的に収集する。
 - ・ 新聞は、特に必要なものは、縮刷版、マイクロフィルムを収集する。
 - ・ 電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。

- 叢書、全集（０８０）
 - ・ 全集、選集、叢書は、選択して収集する。
 - ・ 個人全集、個人選集は、著名な思想家、著作者に限定して収集する。

イ 哲学（哲学、心理学、倫理学、宗教）

- （ア）哲学、心理学、倫理学、宗教については、各分野の基本書を体系的に収集する。
- （イ）初学者のための入門書、概説書に留意する。
- （ウ）研究書、解説書だけでなく、各分野の代表的原典も収集する。
- （エ）学会、マスコミ等で話題になっているテーマや著者、著作に留意する。
- （オ）心の充足を読書に求める市民のために、人生論、一般向けに書かれたわかりやすい宗教書などに留意する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 哲学史（１０２）
 - ・ 入門書を中心に収集する。
- 叢書、全集（１０８）
 - ・ 入門書を中心に収集する。
- 人間学（１１４）
 - ・ 人生論（１５９）との関連で留意する。
- 日本思想（１２１）
 - ・ 代表的な思想家の著作を収集する。
 - ・ 現代の思想家を重視する。
 - ・ 幕末から明治へかけての思想家について留意する。
- 東洋哲学（１２２～）
 - ・ 中国思想、インド思想、イスラム思想について積極的に収集する。
- 西洋哲学（１３０～）
 - ・ 利用が多い分野なので原典、哲学史、入門書、研究書を体系的に収集する。

- ・ 現代の思想潮流を反映させる。
- 心理学（140）
 - ・ 利用が多い分野なので積極的に収集する。
 - ・ 非行等問題行動や不登校など、教育問題から派生して読まれる資料に留意する。
- 名前のつけ方（148）
 - ・ 利用が多いので豊富に収集する。
- 愛国心（154）
 - ・ 社会的関心が高いので、幅広く収集する。
- 人生論、処世法（159）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 女性や高齢者の利用に留意する。
- 宗教（160～）
 - ・ 原典、宗教史、入門書、研究書を体系的に収集する。
 - ・ 宗教、宗派による差別はしない。新興宗教、宗教批判も原則として収集する。基本方針で述べたように、資料がどのような教義、主張、思想を持っていようとも、それは図書館および図書館員が支持することを意味しない。資料の持つ教義、主張、思想は、読者であるひとりひとりの市民の自由な思索と判断にゆだねられる。
 - ・ ただし、資料費や収蔵スペースに制約があることから、宗教書は代表的なもの、一般的なものを優先する。宗教書は教義の対立や宗教批判等さまざまな見解の相違のある分野なので、社会的なコンセンサスを得やすいものから収集する。
 - ・ 資料選択にあたっては次の点に留意する。
 - a 日本図書館協会の選定図書（2016年3月をもって終了）
 - b 新聞、雑誌等の書評に取り上げられたもの、紹介されたもの
 - c テレビ、ラジオ等のマスコミに取り上げられたもの、紹介されたもの
 - d 出版流通上、「図書館向き」と分類されたもの
 - e 著者、版元がよく知られたもの
 - f 一般向けに書かれたわかりやすい資料に留意する。

- g 市民の趣向、関心に留意する。（「仏教」「キリスト教」「イスラム教」「靖国神社」「写経」「座禅」「遍路」「クリスマス」等）
- h 意見の対立のある主題は、それぞれの観点に立つ、多様な資料を収集する。

ウ 歴史（歴史、伝記、地理、紀行）

- （ア）歴史は各分野の基本書を体系的に収集する。
- （イ）歴史はよく利用されるので、一般向けに書かれた歴史読物から入門書、啓蒙書、概説書、研究書、史料まで、多様なレベルのものを収集する。
- （ウ）歴史は、歴史観による意見の対立（「自虐史観」「歴史修正主義」等）があるので、それぞれの観点に立つ、多様な資料を収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 歴史観、歴史理論（201）
 - ・ 学説や歴史観の対立があるので、それぞれの観点に立つ多様な資料を収集する。
- 考古学（202）
 - ・ 一定の利用があるので収集する。
 - ・ 最近の発掘状況、学会の動向に留意する。
- 日本史（210）
 - ・ 利用の多い分野なので、多様なレベル、観点のものを幅広く収集する。
- 日本史史料（210.08）
 - ・ 蔵書の特色のひとつなので、ある程度基本的な史料は今後も収集する。
- 日本史近代、現代（210.6～7）
 - ・ 近代以降の歴史は、積極的に収集する。
 - ・ 昭和史は歴史観による意見の対立があるので（「戦争責任」「沖縄戦」「従軍慰安婦」等）、それぞれの観点に立つ多様な資料を収集する。
 - ・ 図版や写真の多いものを中心に昭和史・平成史の資料を豊富に収集する。
- 地方史（211～219）
 - ・ 各県の県史は基本的なものを収集する。

- 各国史（２２０～２７０）
 - ・ 各国史は積極的に収集する。
 - ・ アジア、アフリカ、中近東の歴史、地理に留意する。
 - ・ アフガニスタン、パレスチナ、中東、北朝鮮など現代的課題のある地域、国に留意する。

- 伝記（２８０）
 - ・ 伝記は、資料的価値が高いため、積極的に収集する。
 - ・ 「自分史」「闘病記」に留意する。
 - ・ 人名事典、人名録などは、レファレンスに役立つものを収集する。

- 地理、地誌、紀行（２９０）
 - ・ 地名辞典は、レファレンスに役立つものを収集する。
 - ・ 地図は、住宅地図・都市地図（神奈川を中心としたもの）、道路地図、地形図等を収集する。
 - ・ 世界各国の地誌は、積極的に収集する。最新データのものに留意する。
 - ・ 旅行案内、観光案内など、レクリエーションに役立つ資料を豊富に収集する。
 - ・ 都市提携している松本、マイアミ・ビーチ、昆明、ウィンザー、^{ポリオン}保寧の関連資料は積極的に収集する。
 - ・ 紀行は、利用が多いので、豊富に収集する。

エ 社会科学

- (ア) 社会科学は、各分野の基本書を体系的に収集する。
- (イ) 社会科学は、さまざまな学説や主張が抗争している分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- (ウ) 社会科学は、その時々時代性と深く結びついている分野なので、今日的主題を重視して収集する。
- (エ) 入門書、概説書は、常に新鮮な資料をそろえる。
- (オ) 参考図書（事典類）については、総論から各論まで、ある程度専門的なものも含め、積極的に収集する。
- (カ) 社会科学は、市民が高度な調査研究に進み得る分野なので、必要な専門書も収集する。
- (キ) ビジネス支援の観点から、日常生活及び実務上に必要な実用書、実務書は、豊富に収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 政治、経済、社会、文化事情（302）
 - ・ 話題になっている資料、新しい資料を豊富に収集する。
 - ・ 最新の世界情勢に留意する。

- 社会評論（304）
 - ・ 時代を代表する評論、話題になった評論は、積極的に収集する。（書評にとりあげられたもの、論争を喚起したもの、評価の高い著者の評論等）

- 叢書、全集、講座（308）
 - ・ それぞれの社会思想において、時代を代表する資料および話題になっている資料は、積極的に収集する。
 - ・ 最新の思想、学説の動向に留意する。

- 政治論（310. 4）
 - ・ 利用の多い分野なので、幅広く収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。

- 政治学、政治思想（311）
 - ・ 多様な観点の資料を幅広く収集する。

- 政治事情、政治史（312）
 - ・ 利用の多い分野なので、時事性、話題性のある資料を中心に幅広く収集する。
 - ・ 多様な観点のものを収集するよう留意する。

- 天皇制（313）
 - ・ 市民の関心が高いため、多様な観点の資料を収集する。
 - ・ 「女性天皇」「女系天皇」など今後の天皇制についての資料に留意する。

- 議会（314）
 - ・ 国会、地方議会に関する資料を収集する。

- 選挙（314. 8）
 - ・ 時事性、話題性のある資料を収集する。

- 政党、政治団体（315）
 - ・ 日本の政党、政治団体に関する資料を収集する。
 - ・ 政党機関誌を収集する。
 - ・ 政治資金に関する資料を収集する。

- 国家と個人、宗教、民族（316）
 - ・ 多様な観点の資料を幅広く収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。（「人権問題」「プライバシー保護」「テロリズム」「ヘイトスピーチ」等）

- 行政（317）
 - ・ 最新の資料に留意する。
 - ・ 内閣、警察、公務員についての資料は、よく利用されるので、幅広く収集する。
 - ・ 行政改革の資料は、多様な観点の資料を幅広く収集する。
 - ・ 国家公務員試験、国家資格に関する資料を収集する。
 - ・ 防災については、実用的な資料を収集する。

- 地方自治（318）
 - ・ 自治体図書館として、「行政支援」の観点から地方自治の諸問題（「地方分権」「地方行革」「地方財政」「道州制」等）について多様な観点の資料を幅広く収集する。
 - ・ 特に藤沢市の行政課題に関連する資料を重視する。（「地域経済の活性化」「都市再生」「自治基本条例」「電子自治体」等）
 - ・ 都市問題、都市政策に関する資料は、積極的に収集する。
 - ・ 住民運動に関する資料は、積極的に収集する。
 - ・ 地方行革、公務員について関心が高まっているので、多様な観点の資料を幅広く収集する。（「指定管理者制度」「NPM」「市場化テスト」「PFI」「内部統制」「公務員制度改革」「官と民の協働」等）

- 外交、国際問題（319）
 - ・ 「軍縮問題」「安全保障」「反戦運動」「核問題」「反核運動」など時事性、話題性のある分野で利用も多く、本市議会においても「核兵器廃絶平和都市宣言」を全会一致で採択しているため、多様な観点の資料を幅広く収集する。

- ・ 最新の情勢に留意する。（「日米関係・日米同盟」「イラク戦争」「朝鮮情勢」「中台関係」「集団安全保障」「基地問題」等）

- 法律（３２０）
 - ・ 各分野の基本書を体系的に収集する。
 - ・ 法改正を反映した最新の資料に留意する。
 - ・ 「法律相談」等の実用書に留意する。
 - ・ 法令集・判例集は、選択して収集し、電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。
 - ・ 必要な講座、叢書は、選択して収集する。

- 憲法（３２３）
 - ・ 国の基本法であり、市民生活と深くかかわるので、積極的に収集する。名誉市民片山哲氏の寄贈書もあり、充実している分野なので、ひきつづき充実を図る。
 - ・ 基本的人権、憲法第九条、天皇制など、論争のある主題については、多様な観点の資料を幅広く収集する。
 - ・ 憲法改正問題は関心が高いので、改正の是非について書かれた資料を幅広く収集する。

- 行政法（３２３．９）
 - ・ 入門書、概説書に留意する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。

- 民法（３２４）
 - ・ 利用の多い分野なので、体系的に収集する。
 - ・ 市民生活と関わりの深い分野である契約法、親族法、相続法は実用的な資料に留意する。（「道路、境界のトラブル」「遺言」「財産相続」「離婚」「夫婦別姓」「借地・借家」「家賃・立退料」等）

- 商法（３２５）
 - ・ 利用の多い分野なので、体系的に収集する。
 - ・ 会社法、商行為法、保険法、手形法は、実用的な資料に留意する。
 - ・ 特に会社法は全面改正されたので、最新の資料に留意する。

- 刑法（３２６）

- ・ 多様な観点、学説の資料を幅広く収集する。
 - ・ 入門書、概説書に留意する。
 - ・ 刑法改正、死刑廃止など時事性、話題性のある資料に留意する。
- 犯罪（３２６．２）
 - ・ 社会的関心を集めた犯罪について書かれた資料は、多様な観点の資料を幅広く収集する。
 - ・ 「少年犯罪」について書かれた資料に留意する。
- 各種の司法資格試験（３２７）
 - ・ 実用的な資料を収集する。
- 人権擁護（３２７）
 - ・ 積極的に収集する。
- 訴訟記録（３２７）
 - ・ 社会的関心の高い訴訟の記録を収集する。
- 少年法（３２７）
 - ・ 社会的関心が高いため積極的に収集する。
- 裁判員制度（３２７）
 - ・ 社会的関心が高いため積極的に収集する。
- 東京裁判、戦争責任（３２９）
 - ・ 社会的関心が高いため幅広く収集する。
 - ・ 多様な観点のものを収集するよう留意する。
- NGO（３２９）
 - ・ 社会的関心が高いため積極的に収集する。
- 経済学、経済思想（３３１）
 - ・ 入門書、概説書、研究書、原典を体系的に幅広く収集する。
 - ・ 経済学は、様々な学説と主張が抗争している分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を収集する。
 - ・ 新しい経済学の動向に留意する。

- 経済史、事情（３３２）
 - ・ 日本および世界の経済史・経済事情を知るための資料を幅広く収集する。
 - ・ 特に日本経済の現状、動向、未来予測についての資料は利用が多いので、幅広く収集する。
 - ・ 最新情報に留意する。
 - ・ 海外事情は日本との関係、親近性に留意する。

- 経済政策、国際経済（３３３）
 - ・ 経済援助、経済協力、南北問題を重視する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。

- 人口問題、難民問題、資源問題（３３４）
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 特に「少子化」に関する資料は、社会的関心が高いため積極的に収集する。
 - ・ 基礎的データの資料に留意する。

- 経営学（３３５）
 - ・ 経営学の二大潮流であるアメリカ及びドイツ経営学に留意する。
 - ・ サラリーマン、中小企業主、自営業者のための入門書、実用書は積極的に収集する。
 - ・ 「M&A」「企業ガバナンス」「CSR」など最新の経営動向、経営手法に留意する。

- NPO（３３５）
 - ・ 社会的関心が高いため積極的に収集する。

- 経営（３３６）
 - ・ 利用の多い分野なので、入門書、実用書をはじめ積極的に収集する。（「ビジネス文書」「会社書式」等）
 - ・ 職場の人間関係や人事管理についての資料は、積極的に収集する。（「ビジネスマナー」「コーチング」「職場のメンタルヘルス」等）
 - ・ 成果主義、アウトソーシング、企業の社会的責任など、時事性、話題性のある資料に留意する。

- 簿記、会計（３３６）
 - ・ 利用が多いので、入門書、実用書を中心に豊富に収集する。
 - ・ 「キャッシュフロー会計」「内部統制」など最近の動向に留意する。
- 貨幣（３３７）
 - ・ 趣味、娯楽に役立つ資料に留意する。
- 物価問題（３３７）
 - ・ 市民生活に関連が深いので積極的に収集する。
- インフレ、デフレ（３３７）
 - ・ 市民生活に関連が深いので積極的に収集する。
- 金融（３３８）
 - ・ 金融のグローバル化など最新の動向に留意する。
 - ・ 利殖、株式投資は利用が多いので、実用書を豊富に収集する。
- 保険（３３９）
 - ・ 実用書を収集する。
 - ・ 「生命保険」「損害保険」「自動車保険」に関する資料に留意する。
- 財政（３４０）
 - ・ 国および地方の財政危機、財政改革は社会的関心が高いので、時事性、話題性のある資料について留意する。
 - ・ 入門書、概説書を中心に収集する。
- 税金（３４５）
 - ・ 節税などの実用書を積極的に収集する。
 - ・ 消費税などの時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 今後の税制のあり方について書かれた資料に留意する。
- 統計（３５０）
 - ・ 基本的な統計類を継続して収集する。
 - ・ 統計は印刷媒体から電子媒体に移行しつつある。電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）に留意する。

- 社会学、社会心理学（361）
 - ・ 入門書から研究書まで幅広く収集する。
 - ・ 次の主題は、利用が多いので留意する。
 - a 世論
 - b マスコミ、マスメディア
 - c グループ、ダイナミックス
 - d 日本人論、外国人論
 - e 愛国団体
 - f 格差社会
 - g 社会調査

- 同和問題、部落解放（361）
 - ・ 人権擁護の観点から積極的に収集する。
 - ・ 多様な観点に立つ多様な資料を収集する。

- 介護保険（364.4）
 - ・ 市民生活に関連が深いので、最新の実用書を積極的に収集する。
 - ・ 制度のあり方を論じた資料に留意する。

- 年金（364.6）
 - ・ 市民生活に関連が深く関心も高いので、最新の実用書を積極的に収集する。
 - ・ 制度のあり方を論じた資料に留意する。

- 雇用保険（364.7）
 - ・ 雇用状況が流動化しているので、最新の実用書を積極的に収集する。
 - ・ 制度のあり方を論じた資料に留意する。

- 消費者問題、消費者運動（365）
 - ・ 利用が多い分野なので、積極的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。

- 住宅問題（365）
 - ・ 市民生活に関連が深いので、最新の実用書を積極的に収集する。
 - ・ 「欠陥住宅」「外断熱」など時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 住宅問題を社会的に考察した資料に留意する。

- 労働問題、労働運動（366）
 - ・ 雇用状況の流動化により、利用が増えている。多様な観点に立つ、多様な資料を収集する。
 - ・ 「非正規雇用」「セクシャルハラスメント」「パワーハラスメント」「職場のメンタルヘルス」「労災」「働き方改革」など時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 女性労働問題は利用が多いので、幅広く収集する。

- 就職（366）
 - ・ 職業案内や各種の資格試験、就職試験、転職、面接等に役立つ資料を積極的に収集する。

- 男性・女性問題、女性論（367）
 - ・ 女性の自立や「ジェンダーフリー」など利用も多く、意見の対立のある分野なので、多様な観点に立つ、多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 「男女共同参画社会」に関する資料は積極的に収集する。

- 家族関係（367）
 - ・ 嫁と姑、親と子の問題など利用が多いので幅広く収集する。
 - ・ 現代的課題に留意する。（「ひきこもり」「ニート」等）

- 婚姻、離婚問題（367）
 - ・ 利用が多く、時事性、話題性のある資料（「ドメスティックバイオレンス」「熟年離婚」等）も多いので、積極的に収集する。

- 児童、青少年問題（367）
 - ・ 利用が多く、時事性、話題性のある資料（「いじめ」「児童虐待」「ひきこもり」等）も多いので、積極的に収集する。

- 老人問題（367）
 - ・ 超高齢社会を迎え利用が多く、時事性、話題性のある資料も多いので、積極的に収集する。
 - ・ 高齢者の生き方、生きがい、生活設計について書かれた資料に留意する。

- 性問題（367）
 - ・ 利用が多く、時事性、話題性のある資料（「性教育」「性差別」「LGBT」等）も多いので、幅広く収集する。
- 社会病理（368）
 - ・ 自殺、少年非行、薬物乱用、反社会集団など、時事性、話題性のある資料が多いので、幅広く収集する。
- 社会福祉（369）
 - ・ 利用が多く、時事性、話題性のある資料が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 介護技術や老人ホーム、グループホーム、児童福祉施設などの各種の福祉施設に関する実用書を豊富に収集する。
 - ・ 福祉の仕事につきたい市民のために「社会福祉士」「介護福祉士」などの福祉関係の資格取得に役立つ資料を収集する。
 - ・ 特に次の主題については積極的に収集する。
 - a 生活保護
 - b 児童福祉
 - c 老人福祉
 - d 障がい者福祉、障がい者の自立
 - e 難民問題
 - f ボランティア活動
 - g 保育、保育所
 - ・ 「障害者総合支援法」など最近の動向や制度のあり方を論じた資料に留意する。
- 防災（369.3）
 - ・ 防災、防犯に役立つ資料を収集する。
 - ・ 特に地震防災に留意する。
- 教育評論（370）
 - ・ 常に社会的関心が高い分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 現代の課題に留意する。（「不登校」「フリースクール」「いじめ」「ニート」「学力問題」「愛国心教育」等）
- 教育の講座・全集（370）
 - ・ 講座、全集は選択して収集する。

- 教育学、教育思想（371）
 - ・ 入門書、概説書、研究書、原典を体系的に収集する。
 - ・ 多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 話題になっている最新の資料について留意する。
 - ・ 教育の非専門家が教育について発言した資料には、ユニークで利用の多いものが見うけられるので留意する。
 - ・ 特に次の主題については積極的に収集する。
 - ・ 教育社会学
 - ・ 教育心理学
 - ・ 児童心理、児童研究
 - ・ 青年心理、青年研究
 - ・ 各種の教育論
 - ・ 同和教育

- 教育政策（373）
 - ・ 「ゆとり教育」など教育政策は社会的関心が高いので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 「中教審」「教育再生実行会議」等の答申など、現政策にかかわる基本資料の収集に留意する。

- P T A（374）
 - ・ 多数の市民がかかわっている P T A についての資料は、積極的に収集する。

- 学校給食（374）
 - ・ 社会的関心の高い学校給食の資料は幅広く収集する。（「食育」「食の安全」「学校給食の民営化」等）

- 学校行事（374）
 - ・ 市民が保護者としてかかわる運動会、学芸会、文化祭、校外教育などの学校教育についての資料は積極的に収集する。

- 教科書、教科書問題（375）

- ・ 市内の公立小学校の教科書と市内高校の主要な教科書を収集する。学習指導要領も収集する。
 - ・ 評論、研究書は、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 特に歴史教科書は、意見の対立があるので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- 幼児教育（376）
 - ・ 幼児教育、保育、学童保育は利用が多いので、実用的な資料を中心に幅広く収集する。
 - ・ 人形劇、「パネルシアター」「エプロンシアター」などの保育技術の実用書は、地域の「子ども読書活動」でも活用できるので、積極的に収集する。
 - 中学生、高校生（376）
 - ・ 児童、青少年問題（367）との関連で、積極的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
 - 入学試験（376）
 - ・ 受験案内書などの実用的な資料に留意する。
 - 学生問題、学生運動（377）
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 学生運動は現代史資料としても利用されるので、多様な観点のものを収集する。
 - ・ 「留学」「就職」などの実用書に留意する。
 - ・ 大学、大学院の社会人利用に関する資料に留意する。
 - 障がい児教育（378）
 - ・ 市民の関心が高いので、積極的に収集する。
 - ・ 「LD（学習障がい）」「ADHD（注意欠陥多動性障がい）」など最近の動向に留意する。
 - 手話、点字（378）
 - ・ 実用的な資料を収集する。
 - ・ 点字図書館との関連で点字、点訳に関する資料に留意する。

- 社会教育、生涯学習（３７９）
 - ・ 市民の社会教育活動は、非常に活発なので、積極的に収集する。

- 児童文化、青少年教育（３７９）
 - ・ 児童書の児童資料研究の資料との関連に留意しながら、話題になっている資料、最新の資料を収集する。
 - ・ 専門家の著作だけでなく、他分野からの発言に留意し、ジャンルとしての広がりを持つよう、多様な資料を幅広く収集する。

- しつけ、家庭教育（３７９）
 - ・ 実用的な資料に留意する。
 - ・ 幼児教育、保育（３７６）との関連に留意する。

- 民俗学（３８０）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 文化人類学などの新しい学説の動向に留意する。

- 衣食住の歴史（３８３）
 - ・ 利用が多く、児童、生徒の宿題にも活用されるので、豊富に収集する。

- 冠婚葬祭、エチケット（３８５）
 - ・ 実用的な資料を積極的に収集する。
 - ・ スピーチ（８０９）との関連に留意する。

- 年中行事（３８６）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
 - ・ 日本の伝統行事やクリスマス、ハロウィーンなどに関する資料に留意する。

- ことわざ（３８８）
 - ・ 利用が多く、児童、生徒の宿題にも活用されるので、積極的に収集する。

- 伝説、民話、わらべ唄（３８８）
 - ・ 積極的に収集する。
 - ・ 児童書との関連に留意する。

- 民族学（389）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
 - ・ 文化人類学などの新しい学説の動向に留意する。

- 国防史、事情、軍事史、事情（392）
 - ・ 利用が多いので幅広く収集する。
 - ・ 第二次世界大戦の戦史、従軍記録に留意する。
 - ・ 自衛隊に関する資料は意見の対立があるので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。

- 国防政策（393）
 - ・ 軍事費、軍縮問題、再軍備など時事性、話題性のある資料を幅広く収集する。
 - ・ 多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。

オ 自然科学（数学、理学、医学）

- （ア）自然科学はその進展が著しい分野なので、最新の情報をつねに提供できるよう留意する。
- （イ）自然科学の各分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の高度な専門書は収集しない。大学の一般教養程度のもを中心にとする。
- （ウ）市民が自然科学全般および主要な個別分野の状況を概観できるような入門書、概説書を中心に収集する。
- （エ）自然科学の最新の分野（「脳科学」「分子生物学」等）について、わかりやすく書かれた資料は積極的に収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 科学哲学（401）
 - ・ 科学哲学、科学理論を収集する。

- 科学史（402）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。

- 科学評論（404）
 - ・ 特に、「科学と社会」「科学と倫理」「科学と人間」について書かれた資料は、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。

- 科学教育（４０７）
 - ・ 「科学あそび」「科学手品」などの実用書を収集する。
- 数学（４１０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
- 物理学（４２０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
- 化学（４３０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
- 天文学（４４０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
 - ・ 特に天文マニアのための資料は利用が多いので、積極的に収集する。
- 地球科学（４５０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
 - ・ 気象は利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 地球温暖化に関する資料は幅広く収集する。環境（５１９）との関連に留意する。
 - ・ 地震は市民の関心が高く利用が多いので、豊富に収集する。防災（３６９）との関連に留意する。
 - ・ 古生物学（「恐竜」、「化石」など）は利用が多いので、豊富に収集する。
- 生物学（４６０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
 - ・ 生物学、遺伝子工学、生態学などは、社会的関心が高いので、積極的に収集する。
- 植物学（４７０）
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
 - ・ 個別の品種について書かれた資料に留意する。
 - ・ 図鑑は利用が多いので、豊富に収集する。
- 動物学（４８０）

- ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
- ・ 個別の動物について書かれた資料に留意する。
- ・ 図鑑は利用が多いので、豊富に収集する。
- 医学（４９０）
 - ・ 医師や医学生、その他の実務家を対象とした高度な専門書、実務書は収集しない。
 - ・ 入門書、概説書を中心に体系的に収集する。
 - ・ 実用的な資料は利用が多いので、豊富に収集する。
 - ・ 疾病ごとの概説書、「闘病記」に留意する。
 - ・ 以下の個別主題は、利用が多いので、積極的に収集する。
 - a 医学と倫理、安楽死、人工受精、遺伝子操作
 - b 東洋医学
 - c 血液型
 - d 看護学
介護（３６９）との関連に留意する。
 - e 老人病、老人医学
老人病は豊富に収集する。（「認知症」「白内障」「骨粗鬆症」等）
 - f がん
がんは豊富に収集する。（「胃がん」「肺がん」「大腸がん」等）
 - g 小児医学
 - h 生活習慣病、メタボリック症候群
生活習慣病に関する資料は、豊富に収集する。（「高血圧」「高脂血症」「肥満」等）
 - i 精神医学
「うつ病」などのメンタルヘルスに留意する。
 - j スモン病、水俣病などの公害病
 - k 難病
 - l 婦人科学、産科学
 - m 食品添加物、食品衛生
 - n 栄養学
「介護食」「病人食」に留意する。
 - o 医療制度、医療行政
 - p 病院、ホスピスなどの医療施設案内
 - q 看護師など医療関係資格試験
 - r 各種の健康法、民間療法
ただし、特定の薬品・健康食品や診療法の宣伝、広告を目的とした

出版物は収集しない。

- s HIV、C型肝炎などの薬品公害
- t 感染症

カ 技術、工学

- (ア) 科学技術はその進展が著しいので、最新の情報をつねに提供できるよう留意する。
- (イ) 技術者や工学系学生が使用する高度で専門的な工学書は選択して収集する。
- (ウ) 科学技術の最新の動向（例えば「リチウムイオン電池」など）について、わかりやすく書かれた資料は、積極的に収集する。
- (エ) 趣味や実用に役立つ資料は、積極的に収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- エネルギー問題（501）
 - ・ 社会的関心が高いので、積極的に収集する。
- 技術史（502）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
- 技術論（504）
 - ・ 特に、技術と社会、技術と人間等について書かれた資料は、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- 特許、発明（507）
 - ・ 実用的な資料を収集する。
- 工業英語（507）
 - ・ 実用的な資料を収集する。
- 模型工作、模型玩具（507）
 - ・ 鉄道模型、船舶模型、模型飛行機等、趣味娯楽に役立つものを積極的に収集する。
- 工業、工業経済（509）
 - ・ 経済、経営との関連で積極的に収集する。

- I S O (5 0 9)
 - ・ I S O (国際標準化機構) について実用的な資料を収集する。

- 科学技術行政 (5 0 9)
 - ・ 行政との関連で収集する。
 - ・ 最新の資料に留意する。

- 河川 (5 1 7)
 - ・ 「河川をきれいにする都市宣言」をしている自治体図書館として、河川行政、河川の汚染に関する資料は積極的に収集する。

- 水問題、水資源 (5 1 7)
 - ・ 社会的関心が高いので、積極的に収集する。

- 都市計画 (5 1 8)
 - ・ 都市問題、地方自治との関連で積極的に収集する。

- ゴミ問題、リサイクル (5 1 8)
 - ・ 市民生活に密接に関連するので、積極的に収集する。

- 公害、環境問題 (5 1 9)
 - ・ 利用が多く、時事性・話題性がつねにある分野なので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 「地球温暖化」に関する資料を幅広く収集する。
 - ・ 環境学習に役立つ資料に留意する。

- 日本の建築 (5 2 1)
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 図集に重点をおく。

- 世界の建築 (5 2 2 ~)
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 図集に重点をおく。

- 公共建築 (5 2 6)
 - ・ 市民生活と密接な関連があるので、積極的に収集する。

- 商店建築（５２６）
 - ・ 商店主のための実用的資料を積極的に収集する。
- 住宅建築（５２７）
 - ・ 利用が多いので、実用的な資料を豊富に収集する。
 - ・ 間取りなどの図集、写真を多用したものに留意する。
 - ・ 住宅問題（３６５）、インテリア（５９７）との関連に留意する。
- 自動車（５３７）
 - ・ 利用が多いので、趣味や実用に役立つ資料を積極的に収集する。
 - ・ 運転免許取得に役立つ資料に留意する。
- 航空（５３８）
 - ・ 航空ファンのための資料に留意する。
- 宇宙工学、宇宙開発（５３８）
 - ・ 時事性、話題性のあるものを中心に、積極的に収集する。
- 原子力開発、原子力産業、原子力行政（５３９）
 - ・ 多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 最新の資料に留意する。
- 原子力発電
 - ・ 多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
 - ・ 最新の資料に留意する。
- 電気鉄道（５４６）鉄道車両（５３６）
 - ・ 利用が多いので、鉄道ファンのための資料を豊富に収集する。
- 通信工学、電気通信（５４７）
 - ・ 無線、デジタル通信、オーディオ、デジタル放送、インターネット、DVD、携帯音楽プレーヤーなど利用が多い分野なので、趣味や実用に役立つ資料を豊富に収集する。
 - ・ 電磁波に関する資料に留意する。
 - ・ ソーシャルネットワーク（SNS）に関する資料に留意する。

- ロボット（５４８）
 - ・ 社会的関心が高いので、積極的に収集する。
- コンピュータ機器、情報工学（５４９）
 - ・ 社会的関心が高いので、積極的に収集する。
- 電子工学（５４９）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ 半導体、液晶、レーザー等最新の資料に留意する。
- 船舶（５５０）
 - ・ 船舶ファンのための資料に留意する。
- 核兵器（５５９）
 - ・ 利用が多いので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- 兵器、防衛産業（５５９）
 - ・ 利用が多いので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- 化粧品（５７６）
 - ・ 利用が多いので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- 合成洗剤（５７６）
 - ・ 利用が多いので、多様な観点に立つ多様な資料を幅広く収集する。
- パン、菓子、酒などの食品工業（５８８）
 - ・ 料理との関連で、趣味や実用に役立つ資料を積極的に収集する。
- ファッション、文房具など（５８９）
 - ・ 衣服（５９３）、手芸（５９４）との関連で、趣味や実用に役立つ資料を積極的に収集する。

キ 家政学、生活科学

- (ア) 市民生活と密接に関連した分野なので、趣味や実用に役立つ資料を積極的に収集する。

(イ) ファッションや料理などについては、流行や季節感に留意する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 家庭電気（５９２）
 - ・ わかりやすい入門書・実用書を収集する。

- 日曜大工（５９２）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。

- 衣服、裁縫（５９３）
 - ・ 利用が多いので、豊富に収集する。
 - ・ 流行や季節感に留意する。
 - ・ 以下の主題は利用が多いので留意する。
 - a きもの、和裁
 - b 洋服、洋裁、子ども服
 - c 着付け、アクセサリー

- 手芸（５９４）
 - ・ 利用が多いので、豊富に収集する。
 - ・ 流行や季節感に留意する。
 - ・ 以下の主題は利用が多いので留意する。
 - a ちりめん細工
 - b 図案
 - c 刺繍
 - d 編物
 - e ビーズ
 - f 袋物
 - g パッチワーク

- 理容、美容（５９５）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
 - ・ ダイエット、各種の美容法に留意する。

- 料理（５９６）
 - ・ 利用が多いので豊富に収集する。
 - ・ 以下の主題は利用が多いので留意する。

- a 日本料理、中国料理、西洋料理、エスニック料理
- b 材料別料理法
- c 弁当
- d おせち料理など季節料理
- e パン、お菓子、飲み物
- f 料理、食品に関するエッセイ

- 住居、インテリア（５９７）
 - ・ 利用が多いので豊富に収集する。
 - ・ 住宅問題（３６５）住宅建築（５２７）との関連に留意する。

- 家庭衛生（５９８）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
 - ・ 以下の主題は利用が多いので留意する。
 - a 結婚医学（性、出産）
 - b 家庭医学
 - c 家庭看護
 福祉の介護（３６９）との関連に留意する。

- 育児（５９９）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
 - ・ 「子育て支援」の観点からも積極的に収集する。
 - ・ 幼児教育（３７６）との関連を留意する。

ク 産業

- (ア) 社会科学との関連で、商業（６７０）、運輸交通（６８０）、通信事業（６９０）を特に重視する。
- (イ) 趣味に役立つ資料（「園芸」「ペット」等）を積極的に収集する。
- (ウ) 「ビジネス支援」の観点から、ビジネスマンや経営者、自営業者に役立つ資料を積極的に収集する。
- (エ) 「規制緩和」、「産業の再生」など、産業社会の新しい動向について、わかりやすく書かれた資料は、積極的に収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 産業史、事情（６０２）
 - ・ 産業社会の新しい動向について書かれた資料は、積極的に収集する。

- 食料問題（6 1 1）
 - ・ 地球温暖化による気候変動で社会的関心が高いので、積極的に収集する。
- 農業問題（6 1 1）
 - ・ 農業の自由化、国際化、有機農業、食の安全、自給率など社会的関心が高いので、積極的に収集する。
- 園芸（6 2 0）
 - ・ 利用が多いので、趣味や実用に役立つ資料を豊富に収集する。
 - ・ 市内で栽培されている品種については積極的に収集する。
- 造園、公園（6 2 9）
 - ・ 利用が多いので、趣味や実用に役立つ資料を積極的に収集する。
 - ・ 公園行政との関連に留意する。
- ペットの飼い方、家畜の飼い方（6 4 5～）
 - ・ 利用が多いので、趣味や実用に役立つ資料を豊富に収集する。
 - ・ ペットの種別について留意する。
- 森林保護（6 5 4）、鳥獣保護（6 5 9）、水産保護（6 6 3）
 - ・ 自然保護に関する資料は、時事性、話題性があるので積極的に収集する。
- 商業英語、商業作文（6 7 0）
 - ・ 実用に役立つ資料を収集する。
 - ・ 商用 e メール文など最新の資料に留意する。
- 商業政策、行政（6 7 1）
 - ・ 産業の再生やビジネス支援の観点から、積極的に収集する。
- 商業経営、商店（6 7 3）
 - ・ 産業の再生やビジネス支援の観点から、実務に役立つ資料を積極的に収集する。
- 不動産（6 7 3）
 - ・ 実用的な資料を収集する。

- ・ 「不動産鑑定士」「宅地建物取引主任者」など資格取得に役立つ資料を収集する。
- 広告（６７４）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
 - ・ 実用的な資料に留意する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
- マーケティング（６７５）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
- 貿易（６７８）
 - ・ 入門書、概説書を収集する。
 - ・ 実用的な資料に留意する。
- 交通政策、都市交通（６８１）
 - ・ 自治体問題（３１８）との関連で収集する。
- 交通事故（６８１）
 - ・ 損害賠償、示談など実用的な資料を収集する。
- 鉄道（６８６）
 - ・ 利用が多いので、鉄道ファンのための資料を積極的に収集する。
 - ・ 鉄道（５３６）電気鉄道（５４６）との関連に留意する。
- 観光（６８９）
 - ・ 実用的な資料を収集する。
 - ・ テーマパークや遊園地案内などに留意する。
 - ・ 自治体問題（３１８）との関連で観光行政に関する資料を収集する。
- 切手（６９３）
 - ・ 趣味に役立つ資料を積極的に収集する。
- 電気通信事業（６９４）
 - ・ 先端技術やその応用についてわかりやすく書かれた資料は、積極的に収集する。

- ・ 携帯電話、スマートフォン等についての資料に留意する。

- テレビ、ラジオ、放送事業（６９９）
 - ・ 利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ デジタル放送など最新の資料に留意する。

ケ 芸術、スポーツ

- (ア) 市民の教養、趣味、娯楽に役立つ資料を、鑑賞、研究と制作、実技との両面にわたり、広範囲に収集する。
- (イ) 作品集は、基本的なものを収集する。
- (ウ) 趣味として手がける人の多い分野については、入門書を中心に豊富に収集する。また、ある程度上級の人々の要望にも応えられるよう留意する。
- (エ) 高齢社会に対応して中高年の趣向に留意する。
- (オ) 市民の趣向、流行、新しい分野について留意する。利用の集中する部分には、豊富な資料を用意する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 芸術理論、美学（７０１）
 - ・ 基本的な資料を収集する。
 - ・ 新しい理論に留意する。
- 芸術史、美術史（７０２）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。
- 美術品目録（７０３）
 - ・ 各種の美術展の目録は、資料として利用価値が高いものに限定して収集する。
- 美術評論（７０４）
 - ・ 時代を代表する評論、話題になった評論を収集する。
- 美術全集（７０８）
 - ・ 基本的な資料を収集する。
- 彫刻（７１０）、絵画（７２０）、版画（７３０）
 - ・ 画集、作品集は基本的な資料を収集する。

- ・ 作家研究、作品研究は基本的な資料を収集する。
- ・ 制作技法に関する資料は、入門書を中心に豊富に収集する。
- ・ 以下の主題は、特に重点をおいて収集する。
 - a 日本画
 - b 洋画
 - c 技法
 - d 漫画
 - おとな向けで評価の高いものを、最新の評判のものを含め、積極的に収集する。
 - 子ども、ヤングアダルト向けのもは児童書、ヤングアダルト資料で収集する。
 - e レタリング、図案、年賀状、チラシ、ポスター
 - f 書道

■ 写真（740）

- ・ 初心者からある程度上級向けまで収集する。
- ・ 機械および技術に関する分野は、最新の情報が提供できるよう留意する。
- ・ 「デジタルカメラ」の技法書に留意する。

■ 写真集（748）

- ・ 評価の高い基本的な資料に限定して収集する。

■ 工芸（750）

- ・ 各分野の基本書を市民の趣向に留意して収集する。
- ・ 下記の分野では趣味として手がける人のための初歩的技法書を中心に、積極的に収集する。
 - a 陶芸
 - b 染色
 - c 織物
 - d 藤工芸
 - e 折り紙
 - f 革工芸
 - g 人形
- ・ 流行に留意し、利用の多い分野には豊富な資料を用意する。

■ 音楽（760～）

- ・ 各ジャンルの基本書を体系的に収集する。
 - ・ クラシックだけでなく、ポピュラー音楽にも十分配慮する。
 - ・ 楽譜集、楽器演奏法（教則本）、邦楽も留意して収集する。
 - ・ 中高年向けの楽器演奏法（教則本）に留意する。
 - ・ 一枚ものの楽譜は収集しない。
 - ・ 視聴覚資料（CD）との関連に留意する。
 - ・ ヤングアダルト向けのものはヤングアダルト資料で収集する。
 - ・ 次の分野は特に重点的に収集する。
 - a 音楽史
 - b 各国の音楽
 - c 音楽家
 - d 軽音楽、ジャズ
 - e 声楽
 - f 歌謡曲、唱歌、童謡
- 舞踊、バレエ（769）
 - ・ 各ジャンルの基本書を体系的に収集する。
 - 演劇（770）
 - ・ 各ジャンルの基本書を体系的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 学校や地域で上演される各種の演劇、演劇運動に関する資料に留意する。
 - ・ 児童劇、人形劇など子ども向けの演劇に関する資料は、児童書として収集する。
 - 映画（778）
 - ・ 利用が多いので、幅広く収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 映画の劇場パンフレットは、資料として利用価値があるものに限定して収集する。
 - ・ 視聴覚資料（ビデオ、DVD）との関連に留意する。
 - 大衆演芸（779）
 - ・ 利用が多いので、幅広く収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある資料に留意する。
 - ・ 落語に留意する。

- スポーツ、体育（780）
 - ・ 各競技、種目ごとに基本書を収集する。
 - ・ 初心者向けの入門書に留意する。
 - ・ 市民の趣向、流行、新スポーツに関する資料に留意し、利用の多い分野には豊富な資料を用意する。
 - ・ スポーツ団体、学校、社会教育団体等に役立つ資料を重視する。
 - ・ 障がい者スポーツに留意する。
 - ・ 中高年の趣向に留意する。
 - ・ ヤングアダルト向けのものはヤングアダルト資料として収集する。
 - ・ スポーツを「観る」側からの資料も積極的に収集する。（「プロ野球」「サッカー」「大相撲」「競馬」等）
 - ・ 次の分野は特に重点的に収集する。
 - a エアロビクス、ストレッチング等
 - b 陸上競技
 - c 球技
 - d ウィンタースポーツ
 - e マリンスポーツ
 - f アウトドア、レクリエーション
 - g つり
 - h 武術
 - g オリンピック・パラリンピック

- 諸芸、娯楽（790）
 - ・ 各分野の基本書を体系的に収集する。
 - ・ 初心者向けの入門書に留意する。
 - ・ 市民の趣向、流行に留意する。
 - ・ 次の分野は特に重点をおいて収集する。
 - a 茶道
 - b 花道
 - c 囲碁
 - d 将棋
 - e トランプ、麻雀、ゲーム
 - f 社交ダンス、フォークダンス

コ 言語

- (ア) 市民の教養、学習、実用に役立つ資料を収集する。
- (イ) 辞典類はこの分野の核になる資料なので、重点をおいて収集する。また、必要なものは貸出しもできるようにする。
- (ウ) 語学書はCD付きの資料を重視する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 言語学（801）
 - ・ 基本的な資料を体系的に収集する。
- 話し方、会議法、速記（809）
 - ・ 実用的な資料を幅広く収集する。
 - ・ 結婚式、葬儀等のスピーチに関する資料に留意する。
- 日本語（810）
 - ・ 日本語論は利用が多いので、積極的に収集する。
- 辞典（813）
 - ・ 基本的なものを収集する。
 - ・ 特殊辞典（類語、語源、古語、流行語等）も収集する。
 - ・ 一部の必要なものについては、貸出用複本も用意する。
 - ・ 活字の大きい辞典も用意する。
- あいさつ、手紙、論文（816）
 - ・ 実用に役立つ資料を積極的に収集する。
- 方言（818）
 - ・ 利用が多いので、入門書、概説書を中心に積極的に収集する。
- 外国語、国際語（820～）
 - ・ 国際化時代をむかえ、語学の要求は強いので、市民の学習と実用に役立つ資料を豊富に収集する。
 - ・ 各国語の語学書に留意する。
 - ・ 辞典の一部については、貸出用複本を用意する。
 - ・ 対訳学習書も収集する。

- 中国語（８２０）
 - ・ 姉妹都市昆明市との関係もあるので、積極的に収集する。
- 韓国語、朝鮮語（８２９）
 - ・ 姉妹都市保寧市との関係もあるので、積極的に収集する。
- 英語（８３０）
 - ・ 最も広く学ばれている外国語として、重点的に収集する。
 - ・ 社会人向けの軽易な学習書や読み物も積極的に収集する。
 - ・ TOEICなどの資格取得に関する資料に留意する。
- その他の言語
 - ・ 英語について広く学習されている下記の外国語については、○和辞典、和○辞典のほかに基本的資料や一般向けの入門書を積極的に収集する。
 - a ドイツ語
 - b フランス語
 - c スペイン語
 - d ポルトガル語
 - e イタリア語
 - f ロシア語
 - g エスペラント
 - ・ 上記以外の言語については、○和辞典、和○辞典をはじめ、基礎的な資料を収集する。○和辞典のない言語については、○英辞典等をできるだけ用意する。

サ 文学

- (ア) 市民の関心が最も高く、また、最も利用の多い分野なので、各分野について豊富な資料を収集する。
- (イ) 全集、作品集に入っている作品でも、利用が多く見込まれるもの、また、単行本、文庫本の形態の方が利用しやすい作品については単行本、文庫本を複本として収集する。
- (ウ) 受賞作品や話題になっている作品は、積極的に収集する。

特に重点的に収集する主題を以下に列記する。

- 文学理論、作法（９０１）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。

- ・ 特に作法については、創作に役立つ資料を積極的に収集する。

- 文学史（902）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。

- 作品案内、作品ガイド（902）
 - ・ 利用が多いので積極的に収集する。

- 文学全集、叢書（908）
 - ・ 評価の高いものを収集する。

- 児童文学（909）
 - ・ 「子ども図書館」でも収集する。

- 日本文学（910）
 - ・ 利用も出版点数も多いので積極的に収集する。
 - ・ 近代文学研究、近代の作家、作品研究には特に重点をおく。

- 詩歌（911）
 - ・ 古典については、基本的な資料を収集する。
 - ・ 古典の解釈書については、評価の高いものを中心に収集する。
 - ・ 著名な作家の全集、作品集は、基本的なものを収集する。
 - ・ 現代作家の作品も積極的に収集する。
 - ・ 「俳句のつくり方」のような入門書も積極的に収集する。

- 戯曲（912）
 - ・ 古典については、基本的な資料を収集する。
 - ・ 近代以降の作品は、評価の定まった作品を中心に収集する。
 - ・ シナリオは映画との関連で留意する。
 - ・ 児童劇は児童書として収集する。

- 小説、物語（913）
 - ・ 古典については、基本的な資料を収集する。
 - ・ 古典の解釈書については、評価の高いものを中心に収集する。

- ・ 著名な作家の全集、作品集は、基本的なものを収集する。
 - ・ 現代の小説は、最も多く利用されているので、豊富に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある作品に留意する。
 - ・ 童話は「子ども図書館」で収集する。
- 評論、随筆（914）
 - ・ 古典については、基本的な資料を収集する。
 - ・ 古典の解釈書については、評価の高いものを中心に収集する。
 - ・ 近代以降の作品は、評価の定まった作品を中心に積極的に収集する。
 - ・ 現代のエッセイはよく利用されるので、積極的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある作品に留意する。
- 日記、書簡、紀行（915）
 - ・ 古典については、基本的な資料を収集する。
 - ・ 古典の解釈書については、評価の高いものを中心に収集する。
 - ・ 近代以降の作品は、評価の定まった作品を中心に積極的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある作品に留意する。
 - ・ 「闘病記」に留意する。
- ルポルタージュ（916）
 - ・ 評価の定まった作品を中心に積極的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある作品に留意する。
 - ・ 「闘病記」に留意する。
- 全集、選集（918）
 - ・ 蔵書の特色のひとつなので、今後も主要な全集、選集は収集する。
- 各国の文学（920～）
 - ・ 各分野の基本的な作品、作品研究、作家研究を体系的に収集する。
 - ・ 時事性、話題性のある作品に留意する。
 - ・ 古典や評価の定まった作品のほか、現代の作品も積極的に収集する。
 - ・ 英文学は利用が多いので、積極的に収集する。
 - ・ アジア、アフリカなど第三世界の文学に留意する。
 - ・ 新訳の作品に留意する。

シ 外国語資料

(ア) 図書館のサービスエリアには、さまざまな国の人々が居住している。

(イ) これらの人々に対して、それぞれの民族文化、伝統の継承、教育、常用する言語による日常生活上の情報、資料が入手できるよう収集に努める。

(ウ) また相互に民族文化・伝統をよりよく理解するための資料を収集する。

- 日本人の外国語学習に役立つ資料
 - ・ 主要な文学作品や絵本の原書
 - ・ 多読のための作品

- 外国につながる人々の日本での生活や情報収集に役立つ資料
 - ・ 新聞、雑誌を含む

- 外国につながる人々が日本語や母国語を学習するための資料

- 異文化を理解するための資料

- 日本について外国語で紹介する資料

- 日本文学など、日本語の著作を外国語に翻訳した作品

3 参考図書

- (1) 参考図書は、「最初から最後まで通読するのではなく、何かを調べるために必要なときに、必要な項目だけを参照するために使う資料（国立国会図書館リサーチナビの説明より）」である。
- (2) 市民の調査研究に役立つ参考図書は、積極的に収集する。
- (3) 参考図書は原則として貸出を行わないが、必要なものについては複本を用意して、貸出を行う。
- (4) 参考図書の収集にあたっては、以下の点に留意する。
 - ア 辞典、事典、便覧、ハンドブック
利用頻度も高く、利用もしやすい基本参考資料である。
 - (ア) 過度に専門的なものを除き、積極的に収集する。調査研究を十分に援助するには、資料の充実が不可欠であり、また、利用の集中を緩和させるためにも、類書を含めた広範囲な収集が必要である。
 - (イ) 印刷媒体の百科事典は、将来刊行される可能性が低いため、最新のものは購入するよう努める。
 - イ 書誌、蔵書目録、索引
 - (ア) 神奈川県内は積極的に収集する。
 - (イ) その他は、地域性と特殊性を考慮して、収集する。
 - ウ 統計資料
 - (ア) 国全体に及ぶ統計は、積極的に収集する。
 - (イ) 都道府県および政令指定都市の統計は、必要に応じて収集する。
 - (ウ) 地域に関係なく特殊な主題（たとえば災害、基地問題など）を扱っている統計については、必要に応じて収集する。
 - エ 年鑑
 - (ア) 積極的に収集する。
 - オ 白書
 - (ア) 各主題にわたり、基本的なものを収集する。
 - カ 人名録、団体名鑑

(ア) 各種人名録や団体名鑑の類は、各主題にわたり、必要に応じて収集する。多少の内容的重複はいとわない。

ただし、高価な資料が多いこと等も考慮し、利用がごく少ない分野、変化をほとんど示さない分野、類書が多数ある分野は、購入及び購入頻度を調整しながら収集する。

キ 地図

(ア) 一般の地図帳

- 世界及び全国の地図は、内容が新しく信用のおけるものを定期的に収集する。

(イ) 都市地図、市街図

- 全国主要都市のものを収集する。

(ウ) 道路地図

- 基本的な全国版、地域版を収集する。

(エ) 地形図

- 国土地理院5万分の1図を全国すべて収集する。
- その他の地形図については、必要に応じて収集する。

(オ) 主題図

- 国勢地図、土地利用図、植生図等特定のテーマについては、必要に応じ収集する。

ク 法令集、官報

(ア) 法令集

- 六法全書、現行日本法規等、国の法令等を網羅的に収録したものを収集する。
- 特殊な主題の法令集は、利用の多いものを積極的に収集する。
- インターネットによるデータベースを活用する。

(イ) 官報

- すべて収集する。
- マイクロフィルムやインターネットによるデータベースを活用する。

ケ 図鑑

(ア) 極端に特殊なものは避け、収録範囲の広いものを類書にこだわらず、豊富に収集する。

コ 電話帳

(ア) 全国すべての最新版を収集する。

サ 新聞縮刷版

- (ア) 主要な全国紙の縮刷版を収集する。
- (イ) マイクロフィルムも必要に応じて収集する。
- (ウ) インターネットによるデータベースを活用する。

シ 史料集、資料集

- (ア) 原則として一般資料として収集するが、参考図書的性格を持つ資料を収集する。「寛政重修緒家譜」など

ス その他、一般書等で常置する必要があるものは、参考図書とする。

- (ア) 主題を調べる資料として最も適当なもの。
- (イ) 類書でもこと足りるが、類書中の一冊は常置しておく必要があり、これがあれば便利というもの。
- (ウ) 内容自体は一般資料だが、付加資料等に他ではかえられない資料がついているもの。
- (エ) 雑誌の特集号等で内容が参考資料として使えるもの。

セ 電子情報

- (ア) 印刷媒体だけでなく、電子媒体（各種のデータベースや電子図書等）についても活用する。

4 地域資料

(1) 藤沢資料

ア 市民の調査、研究、教養およびその他生活情報に資するため、また藤沢の歴史を後世に伝えるため、藤沢に関する多様な資料を積極的に収集する。

イ 藤沢に関する資料とは、以下のものを言う。

- 藤沢および藤沢にかかわる人を主題とした資料。
- 内容の一部が、藤沢および藤沢にかかわる人を取りあげている資料。
- 直接藤沢という記述は出てこないが、内容が地理、歴史、自然等藤沢に関係しているもの。

ウ 藤沢資料は、以下のような多様な形態の資料を積極的に収集する。

- 冊子形式のもの（図書、雑誌）
- パンフレット、リーフレット
- 新聞
- スクラップ類（新聞、雑誌、その他）
- 各種のチラシ
- ポスター類
- 写真
- 紙芝居
- 地図（地形図、都市地図、防災マップ等）
- かるた、双六類
- 視聴覚資料（映画、ビデオ、スライド、CD、CD-ROM、DVD等）
- その他必要なもの

エ 博物館、美術館、公文書館などの類縁機関と調整を図りながら収集する。近世文書、古文書は、文書館が収集しているので、図書館は原則として収集しない。

オ 可能な限り複数の資料を収集して、保存するもの以外は貸出を行う。

カ 藤沢資料の充実は、図書館だけの収集努力では限界があるので、資料に関する情報、寄贈、執筆等あらゆる面で、市民および関係機関の協力を仰ぎ、資料の収集に努める。

キ 分類ごとの重点のおき方は、次のとおりである。

- 知識・情報（A）
 - ・ 知識・情報一般（A0）
 - ・ 書誌・目録（A1）、出版（A2）、事典・年鑑（A3）
積極的に収集する。
 - ・ 一般論文・講演集・雑書（A4）
積極的に収集する。

藤沢市内で開催された講演会の記録は、収集の対象とする。

- ・ 雑誌（A 5）

藤沢市内で発行の総合的な郷土誌、同人誌、ミニコミ誌など、積極的に収集する。

主題が藤沢に関係していなくても、発行が藤沢市内のものは収集の対象とする。

- ・ 団体・研究機関（A 6）

団体名簿、名鑑類は積極的に収集する。

- ・ 新聞・一般紙（A 7）

藤沢市内発行の総合的な地域紙は、一般地域紙からPR紙、サークル紙、ミニコミ紙に至るまで、積極的に収集する。

神奈川新聞及び朝日、毎日、読売の湘南版、神奈川版を収集する。

湘南版・神奈川版以外の藤沢関係の記事についても収集する。

- ・ 叢書・全集（A 8）

藤沢を扱っている叢書、全集は、必要に応じて収集する。

- 歴史（B）

- ・ 歴史（B 0～B 7）

利用の多い分野なので、積極的に収集する。

通史、時代史はすべて収集する。

市内の各地域史は、収集もれのないよう特に留意する。

- 地誌・文化財（C）

- ・ 地誌一般（C 0）

- ・ 地域案内（C 1）

利用が多いので、観光パンフレット等に至るまで、関連資料は、豊富に収集する。

- ・ 地名（C 2）

利用が多いので、豊富に収集する。

- ・ 街道・宿場（C 3）

東海道、鎌倉街道、片瀬街道、大山街道など、街道に関する資料は積極的に収集する。神奈川資料（KC 3）を参照する。

藤沢宿に関する資料は、すべて収集する。

- ・ 地図（C 4）

古地図も含め、地形図、主題図（住宅地図、都市地図、観光地図等）

を積極的に収集する。

- ・ 文化財（C 5）、遺跡・埋蔵文化財（C 6）、相模国府・国分寺（C 7）

積極的に収集する。

- ・ 伝記・人名録（C 9）

人名録は積極的に収集する。

藤沢に関係する人物の伝記は、積極的に収集する。

■ 風俗・民俗（D）

- ・ 風俗・民俗一般（D 0）、衣食住の習俗（D 1）、社会・家庭生活の習俗（D 2）、通過儀礼・冠婚葬祭（D 3）

豊富に収集する。

- ・ 年中行事・祭礼・民俗芸能（D 4）、郷土の諸芸・工芸（D 5）、民間信仰（D 6）

豊富に収集する。

- ・ 伝説・民話（D 7）

利用が多いので、豊富に収集する。

- ・ 言語・方言（D 9）

豊富に収集する。

行政・地方行政（E）（G）、財政（H）、議会・選挙（J）、法律（L）

以上の分野は、自治体発行の行政資料や政府刊行物が大部分を占める。

行政の動勢を知る基本資料であるので、必要なものはすべて収集する。

行政府の刊行する資料だけでなく、住民団体、市民団体などが刊行する資料に留意する。

歴史資料及び行政資料の窓口になる文書館との連絡・調整を進めながら収集する。

一般図書の中に藤沢をとりあげているものがあるので、そのような資料は、部分的な記述であっても収集する。

■ 行政・地方行政（E）

- ・ 地方行政一般（E 0）

- ・ 行政と個人（E 1）

同和問題、部落解放に関する資料を積極的に収集する。

在日外国人に関する資料を積極的に収集する。

- ・ 住民・市民（E 2）

- ・ 公務員（E 3）
 - ・ 政党（E 4）
各政党の藤沢 市内での活動を取りあげている資料を積極的に収集する。
 - ・ 警察（E 5）
 - ・ 消防（E 6）
 - ・ 基地問題・平和問題（E 7）
市民の関心が高いので関連資料を積極的に収集する。
 - ・ 組織・機構（E 9）
- 行政・地方行政（G）
 - ・ 自治体沿革（G 0）
 - ・ 行政概要（G 1）
 - ・ 長期計画（G 2）
 - ・ 事務報告書（G 3）
 - ・ 世論調査（G 4）
積極的に収集する。
 - ・ 広報・広聴（G 5）
「広報ふじさわ」をはじめ、関連資料をすべて収集する。
 - ・ 市勢要覧（G 6）
行政の動勢を知る基本資料なので、関連資料をすべて収集する。
 - ・ 行政事務（G 7）
 - ・ 外国の行政・国際交流（G 9）
姉妹・友好都市であるマイアミ・ビーチ、松本、昆明、ウィンザー、保寧との交流関連資料を収集する。
- 財政（H）
予算書・決算書をはじめ、市財政を概観できる資料を中心に積極的に収集する。
 - ・ 財政一般（H 0）
 - ・ 財政政策（H 1）
 - ・ 財政史・財政事情（H 2）
 - ・ 財務（H 3）
 - ・ 予算・決算（H 4）
 - ・ 租税一般（H 5）
 - ・ 地方税（H 6）
 - ・ 補助金（H 7）

- ・ 地方債（H 8）
 - ・ 公有財産（H 9）
- 議会・選挙（J）
 - ・ 議会一般（J 0）
すべて収集する。
 - ・ 議員（J 1）
議員や後援会等の発行する資料を収集する。
 - ・ 議会史（J 2）
 - ・ 議会報（J 3）
 - ・ 議案書（J 4）
 - ・ 議事録（J 5）
本会議録のほか、各委員会の議事録まで収集する。
 - ・ 選挙一般（J 7）
 - ・ 国政選挙の記録（J 8）
 - ・ 地方選挙の記録（J 9）
市議選、市長選は、選挙公報等選挙に関する資料を収集する。
- 法律（L）
 - ・ 法律一般（L 0）
 - ・ 法律総覧（L 1）
 - ・ 各法解説書（L 2）
 - ・ 司法・裁判所（L 4）
 - ・ 公報（L 6）
 - ・ 判例集（L 7）
 - ・ 自治体例規集（L 9）
「藤沢市例規集」を収集する。
- 経済（M）

市の経済に関する資料は、積極的に収集する。

 - ・ 経済一般（M 0）
 - ・ 所得・消費・貯蓄（M 1）
 - ・ 経済史・経済事情（M 2）
 - ・ 経済政策（M 3）
 - ・ 人口・土地・資源（M 4）
 - ・ 企業（M 5）、事業所（M 6）

市内の企業、事業所の沿革等、関連資料を積極的に収集する。

- ・ 物価 (M7)
「物価調査」の類をはじめ、積極的に収集する。
- ・ 金融・保険 (M8)

■ 産業 (N)

利用が多い分野なので、特に重点的に収集する。

- ・ 産業一般 (N0)
- ・ 農業・園芸・蚕糸業・畜産業 (N1)
関連資料を積極的に収集する。
藤沢の特産品のなものに関する資料には特に重点をおく。
- ・ 林業 (N2)
- ・ 水産業 (N3)
江の島・片瀬の漁業の歴史や現況を扱ったものを中心に、関連資料を収集する。
- ・ 商業 (N4)
大型店出店など市民の関心の高い問題については、関連資料を積極的に収集する。
- ・ 貿易 (N5)
- ・ 工業・製造業 (N6)
市内の工業に関係する資料を中心に、関連資料を収集する。
- ・ 観光 (N8)
江の島、湘南海岸を中心に関連資料を積極的に収集する。
- ・ 通信 (N9)
藤沢市の電話帳を収集する。

■ 統計 (P)

藤沢に関する統計はすべて収集する。

- ・ 統計一般 (P0)
- ・ 総合統計書 (P1)
- ・ 人口統計 (P2)
- ・ 国勢調査 (P3)

■ 社会・労働 (Q)

行政資料のほかに、多数の市民団体発行の資料がある分野なので、積極的に収集する。

- ・ 社会一般（Q 0）
- ・ 市民運動（Q 1）
本市は市民運動が活発な地域であり、運動に関係・関心を持っている市民も多いので、資料を幅広く収集する。
- ・ 消費者問題（Q 2）
市民の関心が高いので、利用が多く、時事性・話題性のある資料を、積極的に収集する。
- ・ 男性・女性問題（Q 3）
市民の関心が高いので、利用が多く、時事性・話題性のある資料を、積極的に収集する。
県立かながわ女性センター（現・神奈川県立かながわ男女共同参画センター（かなテラス））に関する資料を収集する。
- ・ 児童・青少年問題（Q 4）
市民の関心が高いので、利用が多く、時事性・話題性のある資料を、積極的に収集する。
- ・ 高齢者問題（Q 5）
市民の関心が高いので、利用が多く、時事性・話題性のある資料を、積極的に収集する。
- ・ 少子化問題（Q 6）
- ・ 労働一般（Q 7）
- ・ 労働条件（Q 8）
- ・ 労働組合・労働運動（Q 9）
関連資料を積極的に収集する。
労働会館に関する資料を収集する。

■ 社会保障・医療（R）

- ・ 社会保障一般（R 0）
- ・ 社会保険（R 1）
- ・ 生活保護（R 2）
- ・ 児童福祉（R 3）
保育園の紹介等、関連資料を収集する。
- ・ 心身障がい者福祉（R 4）
関連資料を積極的に収集する。
- ・ 高齢者福祉（R 5）
高齢者福祉施設等に関する資料を積極的に収集する。

- ・ 医療・衛生一般（R 6）、医療・衛生年俸・衛生年鑑（R 7）、医療・衛生問題（R 8）、医療・衛生施設（R 9）
関連資料を積極的に収集するが、専門的内容のものは除外する。

■ 教育（S）

- ・ 教育一般・統計（S 0）
関連資料をすべて収集する。
- ・ 教育史・教育事情（S 1）
耕余塾、各校の校史をはじめ、関連資料を積極的に収集する。
- ・ 教育行財政（S 2）
市の教育行財政を総括的に扱っている資料を収集する。
- ・ 学校・幼稚園（S 3）
学校紹介、幼稚園紹介等関連資料を収集する。
- ・ 学校経営（S 4）
- ・ 教育課程（S 5）
関連資料を積極的に収集する。
市内で使用されている教科書は、「児童書」の教科書（375）で収集する。
- ・ 障がい児教育（S 6）
養護学校関連資料や障がい児教育を総括的に扱っている資料を中心に、関連資料を収集する。
- ・ 社会教育（S 7）
本市は社会教育が活発な自治体なので、社会教育活動を扱っている資料を中心に、関連資料を収集する。
社会教育関係サークルの関係資料も積極的に収集する。
学童保育関連資料も収集する。

■ 文化行政（T）

- ・ 文化行政一般（T 0）
文化行政に関する資料を積極的に収集する。
文化行政関係機関、団体等の紀要類も収集する。
- ・ 図書館（T 1）
図書館に関する資料を積極的に収集する。
- ・ 図書館類似施設（T 2）
藤沢市文書館に関する資料を収集する。

- ・ 博物館（T 3）
- ・ 美術館（T 4）
- ・ 公民館（T 5）
 - 公民館活動全体を総括的に扱っている資料を収集する。
 - 公民館の活動紹介に関する資料を収集する。
- ・ その他文化施設（T 6）
 - 市民会館等の関連資料を収集する。
- ・ 読書会・読書活動（T 7）
 - 読書会、子ども文庫、読書活動団体に関する資料を積極的に収集する。

■ 都市問題（U）

市政の重要課題なので、関連資料を積極的に収集する。

- ・ 都市問題一般（U 0）
- ・ 都市政策（U 1）
- ・ 交通・運輸（U 2）
 - 市内の交通・運輸に関する資料を積極的に収集する。
 - 江ノ電に関する資料は利用が多いので、豊富に収集する。
- ・ 住環境（U 3）、上・下水道（U 4）
 - 市民生活に関連が深いので、資料を積極的に収集する。
- ・ 清掃（U 5）
 - 市民生活に関連が深く、利用も多いので、資料を積極的に収集する。
- ・ 建設・建築（U 6）
 - 藤沢の建築に関する資料は、極端に専門的なものを除き、積極的に収集する。
- ・ 公園・緑地（U 8）
 - 市の公園行政・みどり行政の関係資料を積極的にすべて収集する。
 - 市内の公園、みどりの広場等に関する資料を積極的に収集する。

■ 環境問題・災害（V）

環境・公害問題は利用が多いので、関連資料を豊富に収集する。

東日本大震災後、地震や津波、風水害に関する資料は利用が多いので、積極的に収集する。

戦災誌や防災に関する資料は利用が多いので、積極的に収集する。

- ・ 環境・公害問題一般（V 0）
- ・ 大気（V 1）

- ・ 水質 (V 2)
- ・ 土壌 (V 3)
- ・ 騒音・振動・地盤沈下 (V 4)
- ・ その他公害 (V 5)
- ・ 災害一般 (V 6)
- ・ 自然災害 (風害・水害・地震) (V 7)
- ・ 戦災誌 (V 8)
- ・ 防災 (V 9)

■ 自然科学 (W)

自然科学に関する資料は利用が多いので、関連資料を豊富に収集する。

- ・ 自然科学一般 (W 0)
- ・ 数学 (W 1)
- ・ 物理 (W 2)
- ・ 化学 (W 3)
- ・ 天文学・宇宙科学 (W 4)
- ・ 地球科学・地学・地質学 (W 5)
地形図は、関係するものを収集する。
- ・ 生物学 (W 6)
- ・ 植物学 (W 7)
江の島サムエル・コッキング苑に関する資料を収集する。
- ・ 動物学 (W 8)
新江ノ島水族館に関する資料を収集する。
藤沢メダカに関する資料を収集する。

■ 芸術・美術 (X)

- ・ 芸術・美術一般 (X 0)
藤沢の芸術・美術活動に関する資料 (雑誌、同人誌、劇団報等) は積極的に収集する。
- ・ 彫刻 (X 1)、絵画 (X 2)、版画 (X 3)、写真 (X 4)、工芸 (X 5)、音楽 (X 6)、演劇・映画 (X 7)
以上の資料は、それぞれ藤沢を題材または背景等として扱った作品を対象として収集する。
- ・ スポーツ (X 8)
社会体育活動を総括的に扱っている資料を中心に、関連資料を収集する。

秩父宮記念体育館、秋葉台文化体育館、県立体育センター等市内の体育施設を紹介している資料を収集する。

市内のスポーツ団体や藤沢出身・在住のスポーツ選手に関連する資料等を中心に、積極的に収集する。

市内競技場での各種記録等は必要なものを収集する。

- ・ 諸芸 (X 9)

■ 文学 (Y)

- ・ 文学一般 (Y 0)

藤沢の文学を総括的に扱っている資料は積極的に収集する。

藤沢に関係する文学者の伝記、作家論を収集する。しかし、芥川龍之介等著名な文学者の場合には、藤沢との関わりが記述等で明確に示されているものに限定する。

藤沢の文学に関する雑誌は積極的に収集する。

市内発行の文学雑誌・同人誌は、主題が藤沢の文学でなくても収集する。

- ・ 文学作品 (Y 1～Y 9)

詩歌、戯曲、小説・物語、評論・随筆、紀行・日記・書簡、ルポルタージュ、風刺・ユーモア、作品集、漢詩文

藤沢を素材(舞台)にした文学作品を収集する。

市内の作家・市民の作品で、素材(舞台)が藤沢でない一般作品は、藤沢資料としては収集せず、「市民文庫」として収集する。

■ 倫理・宗教 (Z)

藤沢に関連する資料は積極的に収集する。

市内で発行されている各宗教団体の機関紙誌類は、収集する。

- ・ 宗教一般 (Z 0)
- ・ 報徳教・石門心学 (Z 1)
- ・ 神道 (Z 2)

市内の各神社等、関連資料を収集する。

江島神社、大庭御厨に関する資料を収集する。

- ・ 仏教 (Z 3)

市内各寺院の刊行物を含め、関連資料を収集する。

- ・ 時宗・遊行寺 (Z 4)

藤沢は遊行寺の門前町として発展してきた歴史的な性格があるので、時宗の関連資料は積極的に収集する。

遊行寺や一遍に関する資料は利用が多いので、豊富に収集する。

- キリスト教（Z 5）
関連資料を積極的に収集する。
- その他の宗教（Z 6）

(2) 神奈川資料

- ア 市民の調査、研究、教養その他生活情報に資するため、また神奈川の歴史を後世に伝えるため、神奈川に関する多様な資料を積極的に収集する。
- イ 神奈川資料は、以下の原則のもとに収集する。
 - 県全般の動きを概観できる資料（県史、年鑑、概要等）については、網羅的に収集する。
 - 特定の主題について県全体の動きを総括的に扱っている資料は、積極的に収集する。
 - 個別自治体（市、町、村）を概観できる資料については、全自治体のものを収集する。ただし、「地域研究」等で要望の多い自治体のものは、積極的に収集するが、他のものは代表的な資料の収集にとどめる。
 - 個別自治体に特有の主題を扱っている資料で一般的なものは、積極的に収集する。
- ウ 資料の形態は、冊子形式（図書、雑誌）のものを中心に収集し、特殊な形態の資料は、県立歴史博物館、県立公文書館などの類縁機関との調整を図りながら収集する。
- エ 利用の多い資料には、複本を用意する。
- オ 藤沢資料に準じて収集する。分類ごとの重点のおき方は、次のとおりである。

■ 知識・情報（A）

- ・ 知識・情報一般（A0）、書誌・目録（A1）、出版（A2）、事典・年鑑（A3）
積極的に収集する。
- ・ 一般論文・講演集・雑書（A4）
必要なものに限定する。
- ・ 雑誌（A5）
県内発行の一般の雑誌は、必要なものに限定する。
- ・ 団体・研究機関（A6）
- ・ 新聞・一般紙（A7）
県内発行の総合的な地域紙は、必要なものに限定する。
- ・ 叢書・全集（A8）
神奈川を扱っている叢書、全集は、必要に応じて収集する。

■ 歴史（B）

- ・ 歴史（B0～B7）
利用の多い分野なので、積極的に収集する。

神奈川県を通史はすべて収集する。

個別自治体の通史もすべて収集する。

「主題史」は一般的なものを中心に収集する。ただし、鎌倉（幕府他）、小田原（後北条氏他）、箱根（関所他）、横浜（海港、空襲、生麦事件他）、三浦（浦賀）等々、歴史的に重要な史実に関するものは、専門書も収集の対象とする。

■ 地誌・文化財（C）

・ 地誌一般（C 0）

・ 地域案内（C 1）

「地域研究」の利用は非常に多いので、積極的に収集する。

県全体を扱っているものは、重点的に収集する。

湘南地区、三浦半島、横浜、小田原、箱根に重点をおく。

・ 地名（C 2）

利用が多いので、積極的に収集する。

・ 街道・宿場（C 3）

東海道、鎌倉街道、片瀬街道、大山街道など、街道に関する資料は積極的に収集する。藤沢資料（F C 3）を参照する。

藤沢宿以外の宿場についての資料は、一般的なものを中心に収集する。

・ 地図（C 4）

県内の住宅地図・都市地図は全ての市町村のものを収集するが、出版元が複数ある場合は調整する。

道路地図、観光に関する地図資料は、積極的に収集する。

県内の地形図は、積極的に収集する。

・ 文化財（C 5）、遺跡・埋蔵文化財（C 6）、相模国府・国分寺（C 7）

積極的に収集する。

・ 伝記・人名録（C 9）

人名録は積極的に収集する。

神奈川に関する人物の伝記は積極的に収集する。

■ 風俗・民俗（D）

・ 風俗・民俗一般（D 0）、衣食住の習俗（D 1）、社会・家庭生活の習俗（D 2）、通過儀礼・冠婚葬祭（D 3）

豊富に収集する。

- ・ 年中行事・祭礼・民俗芸能（D 4）、郷土の諸芸・工芸（D 5）、民間信仰（D 6）
豊富に収集する。
 - ・ 伝説・民話（D 7）
県内諸地域に関するものを積極的に収集する。
 - ・ 言語・方言（D 9）
豊富に収集する。
 - ・ 行政・地方行政（E）（G）、財政（H）、議会・選挙（J）、法律（L）
神奈川県全体および個別自治体の行政等をそれぞれ概観できる資料を収集する。
一般図書の中で神奈川県を取りあげている資料は、独立した章立てになっていれば、収集の対象とする。
近隣自治体（横浜、鎌倉、茅ヶ崎、大和、綾瀬、平塚、寒川）の資料に留意する。
- 行政・地方行政（E）
 - ・ 地方行政一般（E 0）
 - ・ 行政と個人（E 1）
 - ・ 住民・市民（E 2）
 - ・ 公務員（E 3）
 - ・ 政党（E 4）
各政党の神奈川県での活動を取りあげている資料を収集する。
政治的・社会的関心を集めた問題についての各政党の資料を収集する。
 - ・ 警察（E 5）
 - ・ 消防（E 6）
 - ・ 基地問題・平和問題（E 7）
神奈川県は全国有数の基地県であり、市民の関心も高いので、関係資料を収集する。
 - ・ 組織・機構（E 9）
- 行政・地方行政（G）
 - ・ 自治体沿革（G 0）
 - ・ 行政概要（G 1）
 - ・ 長期計画（G 2）
 - ・ 事務報告書（G 3）

- ・ 世論調査（G 4）
積極的に収集する。
 - ・ 広報・広聴（G 5）
「県のたより」をはじめ、県連資料を収集する。
近隣自治体（横浜、鎌倉、大和、綾瀬、平塚、茅ヶ崎、寒川）の広報を収集する。
 - ・ 市勢要覧（G 6）
行政の動勢を知る基本資料なので積極的に収集する。
神奈川県および個別自治体の基本的な動勢を伝える資料を網羅的に収集する。
 - ・ 行政事務（G 7）
 - ・ 外国の行政・国際交流（G 9）

- 財政（H）
 予算書・決算書をはじめ、県財政を総括的に扱っている資料を収集する。
 個別自治体に関する資料は、原則として収集しないが、各自自治体の比較等をしている資料および近隣自治体の資料は収集する。
 - ・ 財政一般（H 0）
 - ・ 財政政策（H 1）
 - ・ 財政史・財政事情（H 2）
 - ・ 財務（H 3）
 - ・ 予算・決算（H 4）
 - ・ 租税一般（H 5）
 - ・ 地方税（H 6）
 - ・ 補助金（H 7）
 - ・ 地方債（H 8）
 - ・ 公有財産（H 9）

- 議会・選挙（J）
 - ・ 議会一般（J 0）
 - ・ 議員（J 1）
 - ・ 議会史（J 2）
神奈川のほか、個別自治体の議会史も収集の対象とする。
 - ・ 議会報（J 3）
県議会の議会報を収集する。
その他自治体は必要に応じて収集する。

- ・ 議案書（J 4）
- ・ 議事録（J 5）
 - 県議会の議事録を収集する。
 - その他自治体は必要に応じて収集する。
- ・ 選挙一般（J 7）
- ・ 国政選挙の記録（J 8）、地方選挙の記録（J 9）
 - 国政選挙の神奈川地区、知事選、県議選の関連資料を収集する。

■ 法律（L）

- ・ 法律一般（L 0）
- ・ 法律総覧（L 1）
- ・ 各法解説書（L 2）
- ・ 司法・裁判所（L 4）
- ・ 公報（L 6）
 - 「神奈川県公報」を収集する。
- ・ 判例集（L 7）
- ・ 自治体例規集（L 9）
 - 「神奈川県例規全集」を収集する。

■ 経済（M）

神奈川の経済について総括的に扱っている資料を収集する。

- ・ 経済一般（M 0）
- ・ 所得・消費・貯蓄（M 1）
- ・ 経済史・経済事情（M 2）
- ・ 経済政策（M 3）
- ・ 人口・土地・資源（M 4）
- ・ 企業（M 5）、事業所（M 6）
 - 県内主要企業を紹介しているもの、県全体の企業を総括的に扱っている資料を収集する。
- ・ 物価（M 7）
 - 県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
- ・ 金融・保険（M 8）

■ 産業（N）

県および個別自治体の産業を総括的に扱っている資料を収集する。

- ・ 産業一般（N 0）

- ・ 農業・園芸・蚕糸業・畜産業（N 1）
 県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
 県内各地の名産品に関する資料を積極的に収集する。
- ・ 林業（N 2）、水産業（N 3）、貿易（N 5）、工業・製造業（N 6）
 県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
- ・ 商業（N 4）
 県全体を総括的に扱っている資料および県内の代表的商業地に関するものを収集する。
- ・ 観光（N 8）
 県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
 県内の主要な観光地に関する資料を収集する。
 個別自治体の発行する観光関連資料は積極的に収集する。
- ・ 通信（N 9）

■ 統計（P）

県の統計は、行政統計を中心に各種統計を積極的に収集する。

個別自治体の統計は、その自治体の動勢を総括的に扱っている資料を収集する。

- ・ 統計一般（P 0）
- ・ 総合統計書（P 1）
- ・ 人口統計（P 2）
- ・ 国勢調査（P 3）

■ 社会・労働（Q）

市民の関心が高いので行政資料のほかに、多数の市民団体発行の資料を収集する。

- ・ 社会一般（Q 0）
- ・ 市民運動（Q 1）
 市民の関心が高いので、県内の市民運動に関する資料を収集する。
- ・ 消費者問題（Q 2）、男性・女性問題（Q 3）、児童・青少年問題（Q 4）、高齢者問題（Q 5）
 市民の関心が高いので収集する。
- ・ 少子化問題（Q 6）
- ・ 労働一般（Q 7）
- ・ 労働条件（Q 8）
- ・ 労働組合・労働運動（Q 9）

県全体の動きを総括的に扱っている資料を収集する。
個別組合の組合史、闘争史は収集する。

■ 社会保障・医療（R）

- ・ 社会保障一般（R 0）
- ・ 社会保険（R 1）
- ・ 生活保護（R 2）
- ・ 児童福祉（R 3）
- ・ 心身障がい者福祉（R 4）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

個別自治体の特色のある施策に関する資料は収集する。

- ・ 高齢者福祉（R 5）
- ・ 医療・衛生一般（R 6）
- ・ 医療・衛生年報・衛生年鑑（R 7）
- ・ 医療・衛生問題（R 8）
- ・ 医療・衛生施設（R 9）

県の医療行政を総括的に扱っている資料を収集する。

県立こども医療センターのように、全国的に著名な特色ある医療施設に関する資料を収集する。

■ 教育（S）

- ・ 教育一般・統計（S 0）

神奈川の教育を総括的に扱っている資料を収集する。

個別自治体の資料は必要なものは収集する。

- ・ 教育史・教育事情（S 1）
- ・ 教育行財政（S 2）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

- ・ 学校・幼稚園（S 3）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

学校紹介・幼稚園紹介等必要なものは収集する。

- ・ 学校経営（S 4）
- ・ 教育課程（S 5）、障がい児教育（S 6）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

社会的関心を集めている個別主題については、必要に応じて収集する。

- ・ 社会教育（S 7）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

■ 文化行政（T）

- ・ 文化行政一般（T 0）
県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
- ・ 図書館（T 1）
県内図書館の現況、紹介に関する資料を中心に収集する。
- ・ 図書館類似施設（T 2）
神奈川県立公文書館の関連資料を収集する。
- ・ 博物館（T 3）、美術館（T 4）
県内の主要な施設の案内、特別展示等の図録類を中心に収集する。
個別自治体の資料も収集する。
- ・ 公民館（T 5）
県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
個別自治体の資料は原則として収集しない。
- ・ その他文化施設（T 6）
県立音楽堂など県内主要施設を紹介している資料を収集する。
- ・ 読書会・読書活動（T 7）

■ 都市問題（U）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

個別自治体の資料は必要なものととどめる。

- ・ 都市問題一般（U 0）
- ・ 都市政策（U 1）
- ・ 交通・運輸（U 2）
鉄道関係は利用が多いので、特に重点をおく。
- ・ 住環境（U 3）
- ・ 上・下水道（U 4）
上水道については、相模湖、丹沢湖、宮ヶ瀬ダム等の関連資料を収集する。
- ・ 清掃（U 5）
個別自治体の特色ある施策に関する資料を収集する。
- ・ 建設・建築（U 6）
県内の著名な建築物に関する資料を収集する。

- ・ 公園・緑地（U 8）

県内の主要な公園を紹介している資料を収集する。

- 環境問題・災害（V）

県内の公害・環境問題は利用が多いので、関連する資料は積極的に収集する。神奈川県に隣接する東京都や対岸となる千葉県の公害資料についても、必要なものは収集する。

東日本大震災後、地震や津波、風水害に関する資料は利用が多いので、県全体を総括的に扱った資料および県内の主要な災害に関する資料を積極的に収集する。

- ・ 環境・公害問題一般（V 0）
- ・ 大気（V 1）
- ・ 水質（V 2）
- ・ 土壌（V 3）
- ・ 騒音・振動・地盤沈下（V 4）
- ・ その他公害（V 5）
- ・ 災害一般（V 6）
- ・ 自然災害（風害・水害・地震）（V 7）
- ・ 戦災誌（V 8）
- ・ 防災（V 9）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

県内のアボイドマップ（自然災害回避地図）は、すべて収集する。

- 自然科学（W）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。個別自治体の資料も必要に応じて収集する。

- ・ 自然科学一般（W 0）
- ・ 数学（W 1）
- ・ 物理（W 2）
- ・ 化学（W 3）
- ・ 天文学・宇宙科学（W 4）
- ・ 地球科学・地学・地質学（W 5）

地質については、利用が多いので、関連資料を収集する。

地形図を収集する。

- ・ 生物学（W 6）、植物学（W 7）、動物学（W 8）

特に丹沢、箱根、三浦半島、相模湾等の地域に留意する。

- 芸術・美術（X）
 - ・ 芸術・美術一般（X 0）

県全体を総括的に扱っている資料(雑誌等)を収集する。
 - ・ 彫刻（X 1）、絵画（X 2）、版画（X 3）、写真（X 4）、工芸（X 5）、音楽（X 6）、演劇・映画（X 7）

以上の資料は、それぞれ神奈川を題材または背景等として扱った作品を対象とするが、特に必要なもののみとする。
 - ・ スポーツ（X 8）

県の社会体育行政を総括的に扱っている資料を収集する。
県内の各種社会体育施設を紹介している資料を収集する。
県内のスポーツ団体や県内出身のスポーツ選手に関連する資料等を収集する。
 - ・ 諸芸（X 9）

- 文学（Y）
 - ・ 文学一般（Y 0）

神奈川の文学を総括的に扱っている資料を収集する。
神奈川県立近代文学館等の関係資料を収集する。
神奈川に関する文学者の伝記・作家論は必要なものを収集する。
神奈川の文学に関する雑誌も必要なものを収集する。
 - ・ 文学作品（Y 1～Y 9）

詩歌、戯曲、小説・物語、評論・随筆、紀行・日記・書簡、ルポルタージュ、風刺・ユーモア、作品集、漢詩文。
神奈川を素材（舞台）にした文学作品を収集する。

- 倫理・宗教（Z）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

 - ・ 宗教一般（Z 0）
 - ・ 報徳教・石門心学（Z 1）

専門的なものを除き、関連資料を収集する。
 - ・ 神道（Z 2）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。
鶴岡八幡宮、寒川神社等、県内の著名な神社に関する資料を収集する。ただし、極度に専門的なものは除外する。
 - ・ 仏教（Z 3）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

鎌倉仏教や県内の有名寺院を扱っている資料は、極度に専門的なものを除き収集する。

- ・ 時宗・遊行寺（Z 4）
- ・ キリスト教（Z 5）

県全体を総括的に扱っている資料を収集する。

県内の著名なキリスト教会等を紹介している資料を収集する。

- ・ その他の宗教（Z 6）

■ <参考> 地域・行政資料分類表

- | | |
|---|---|
| <p>A 知識・情報</p> <p>0 知識・情報一般</p> <p>1 書誌・目録</p> <p>2 出版</p> <p>3 事典・年鑑</p> <p>4 一般論文・講演集・雑書</p> <p>5 雑誌</p> <p>6 団体・研究機関</p> <p>7 新聞・一般紙</p> <p>8 叢書・全集</p> <p>9</p> | <p>D 風俗・民俗</p> <p>0 風俗・民俗一般</p> <p>1 衣食住の習俗</p> <p>2 社会・家庭生活の習俗</p> <p>3 通過儀礼・冠婚葬祭</p> <p>4 年中行事・祭礼・民俗芸能</p> <p>5 郷土の諸芸・工芸</p> <p>6 民間信仰</p> <p>7 伝説・民話</p> <p>8</p> <p>9 言語・方言</p> |
| <p>B 歴史</p> <p>0 歴史一般</p> <p>1 通史</p> <p>2 原始</p> <p>3 古代</p> <p>4 中世</p> <p>5 近世</p> <p>6 近代</p> <p>7 昭和以降</p> <p>8</p> <p>9</p> | <p>E 行政・地方行政</p> <p>0 地方行政一般</p> <p>1 行政と個人</p> <p>2 住民・市民</p> <p>3 公務員</p> <p>4 政党</p> <p>5 警察</p> <p>6 消防</p> <p>7 基地問題・平和問題</p> <p>8</p> <p>9 組織・機構</p> |
| <p>C 地誌・文化財</p> <p>0 地誌一般</p> <p>1 地域案内</p> <p>2 地名</p> <p>3 街道・宿場</p> <p>4 地図</p> <p>5 文化財</p> <p>6 遺跡・埋蔵文化財</p> <p>7 相模国府・国分寺</p> <p>8</p> <p>9 伝記・人名録</p> | <p>G 行政・地方行政</p> <p>0 自治体沿革</p> <p>1 行政概要</p> <p>2 長期計画</p> <p>3 事務報告書</p> <p>4 世論調査</p> <p>5 広報・広聴</p> <p>6 市勢要覧</p> <p>7 行政事務</p> <p>8</p> <p>9 外国の行政・国際交流</p> |

H 財政

- 0 財政一般
- 1 財政政策
- 2 財政史・財政事情
- 3 財務
- 4 予算・決算
- 5 租税一般
- 6 地方税
- 7 補助金
- 8 地方債
- 9 公有財産

J 議会・選挙

- 0 議会一般
- 1 議員
- 2 議会史
- 3 議会報
- 4 議案書
- 5 議事録
- 6
- 7 選挙一般
- 8 国政選挙の記録
- 9 地方選挙の記録

L 法律

- 0 法律一般
- 1 法律総覧
- 2 各法解説書
- 3
- 4 司法・裁判所
- 5
- 6 公報
- 7 判例集
- 8
- 9 自治体例規集

M 経済

- 0 経済一般
- 1 所得・消費・貯蓄
- 2 経済史・経済事情
- 3 経済政策
- 4 人口・土地・資源
- 5 企業
- 6 事業所
- 7 物価
- 8 金融・保険
- 9

N 産業

- 0 産業一般
- 1 農業・園芸・蚕糸業・畜産業
- 2 林業
- 3 水産業
- 4 商業
- 5 貿易
- 6 工業・製造業
- 7
- 8 観光
- 9 通信

P 統計

- 0 統計一般
- 1 総合統計書
- 2 人口統計
- 3 国勢調査
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9

Q 社会・労働

- 0 社会一般
- 1 市民運動
- 2 消費者問題
- 3 男性・女性問題
- 4 児童・青少年問題
- 5 高齢者問題
- 6 少子化問題
- 7 労働一般
- 8 労働条件
- 9 労働組合・労働運動

R 社会保障・医療

- 0 社会保障一般
- 1 社会保険
- 2 生活保護
- 3 児童福祉
- 4 心身障がい者福祉
- 5 高齢者福祉
- 6 医療・衛生一般
- 7 医療・衛生年報・年鑑
- 8 医療・衛生問題
- 9 医療・衛生施設

S 教育

- 0 教育一般・統計
- 1 教育史・教育事情
- 2 教育行財政
- 3 学校・幼稚園
- 4 学校経営
- 5 教育課程
- 6 障がい児教育
- 7 社会教育
- 8
- 9

T 文化行政

- 0 文化行政一般
- 1 図書館
- 2 図書館類似施設
- 3 博物館
- 4 美術館
- 5 公民館
- 6 その他文化施設
- 7 読書会・読書活動
- 8
- 9

U 都市問題

- 0 都市問題一般
- 1 都市政策
- 2 交通・運輸
- 3 住環境
- 4 上・下水道
- 5 清掃
- 6 建設・建築
- 7
- 8 公園・緑地
- 9

V 環境問題・災害

- 0 環境・公害問題一般
- 1 大気
- 2 水質
- 3 土壌
- 4 騒音・振動・地盤沈下
- 5 その他公害
- 6 災害一般
- 7 自然災害（風害・水害・地震）
- 8 戦災誌
- 9 防災

W 自然科学

- 0 自然科学一般
- 1 数学
- 2 物理
- 3 化学
- 4 天文学・宇宙科学
- 5 地球科学・地学・地質学
- 6 生物学
- 7 植物学
- 8 動物学
- 9

X 芸術・美術

- 0 芸術・美術一般
- 1 彫刻
- 2 絵画
- 3 版画
- 4 写真
- 5 工芸
- 6 音楽
- 7 演劇・映画
- 8 スポーツ
- 9 諸芸

Y 文学

- 0 文学一般
- 1 詩歌
- 2 戯曲
- 3 小説・物語
- 4 評論・随筆
- 5 紀行・日記・書簡
- 6 ルポルタージュ
- 7 風刺・ユーモア
- 8 作品集
- 9 漢詩文

Z 倫理・宗教

- 0 宗教一般
- 1 報徳教・石門心学
- 2 神道
- 3 仏教
- 4 時宗・遊行寺
- 5 キリスト教
- 6 その他の宗教
- 7
- 8
- 9

5 市民文庫

- (1) 「市民文庫」の「市民」は、次のように定義する。
 - ア 藤沢出身の人
 - イ 藤沢在住の人
 - ウ 藤沢に在住歴のあった人
 - エ 藤沢に在学歴のあった人
 - オ 藤沢に滞在した人
 - カ その他、藤沢に強い関わりのあった人

- (2) 市民が「著」「訳」「編」「監修」等、なんらかの形で著作内容に関わっている資料は、市民文庫として積極的に収集する。

- (3) 藤沢出身の人、在住の人、在住歴のあった人の著作は、積極的に収集する。

- (4) ただし、著作に関する関与度が低い資料については、関与度に応じ、段階的に収集する。

- (5) 藤沢に在学歴のあった人、滞在した人、強い関わりのあった人については、原則として主要著作を収集する。

- (6) 市民文庫についての情報、寄贈等市民の協力を仰いで収集する。

6 特別コレクション

(1) 現在、所蔵されている特別コレクションは次のとおりである。

ア マイアミ・ビーチ文庫

イ 川田順文庫

ウ 片山哲文庫

エ 羽仁五郎文庫

オ 石堂清倫文庫

カ 江口朴郎文庫

キ 古在由重文庫

(2) 以上のコレクションに対して、必要な資料を一般書として収集する。

7 児童書

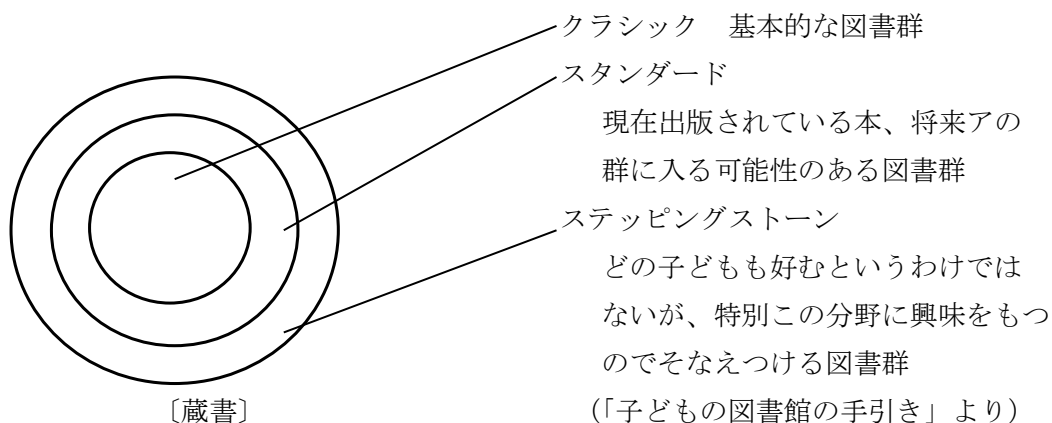
- (1) 乳幼児、児童、生徒のあらゆる興味に対応できるよう、幅広く資料を収集する。
- (2) 他のサービスポイント（市内の学校、幼稚園、保育園、児童館、地域子どもの家、文庫等）で、限られたスペース、利用実態の特質に応じた適切な選書ができるよう、資料の面でバックアップする。

ア 各分野の評価の定まった資料（以下「基本図書」とよぶ）は、必要なものを積極的に収集する。

これらの基本図書は日常的に維持・更新して欠本の生じないようにする。

基本図書のリストは、「基本図書リスト」として公開し、他のサービス・ポイントに選書資料として提供する。

イ 各分野の評価の定まらない資料も、主なものはできるだけ収集する。



ウ 児童書、児童資料は、各ブックリスト、書評等で高い評価を得ているものであっても、品切れ、絶版となるものが多数あるので、品切れ、絶版となった基本図書の保存につとめる。

- (3) 成人を対象とした、児童資料研究とその関連資料を収集する。
- (4) 基本図書の収集にあたって参考とするブックリスト、書評誌等は児童書の項の末尾に掲載する。
- (5) 各分野の収集の考え方を以下に述べる。

ア 絵本

- (ア) 子どもの知的、情緒的経験を広げ、想像力を豊かに養うものを中心に、幅広く収集する。
- (イ) 絵本の選定、また複本数を決定する際には、以下の点に留意する。
- a 絵が見るものに訴えかけるものをもっているか。
 - b 絵がストーリーを語ってくれているか。
 - c 絵と文がきちんと一体化されているか。
 - d 構図がしっかりしているか。色はどうか。
 - e 子どもにふさわしい、あたたかみのある絵か。
 - f ストーリーは子どもに楽しみや希望を与え、感じる力を育ててくれるものであるか。
 - g 何年も読みつがれてきたもの、また読みつがれる可能性が高いものかどうか。
- (ウ) 各ブックリスト、書評誌等にあげられた絵本を収集する。基本的な絵本は複本を用意する。
- (エ) 評価の定まった絵本作家の作品は、積極的に収集する。
- (オ) 原書の絵本も収集する。評価の高い作品、評価の定まった絵本作家の作品を中心に収集する。
また、少ない点数でも、いろいろな国の絵本がそろうよう努める。
- (カ) ブックスタート事業の実施に伴い、乳幼児向けの絵本についても積極的に収集する。
- (キ) 乳幼児向け絵本の選定の際には、上記 a～g に加え、次の点にも留意する。
- 乳幼児にもわかりやすいテーマであるか。
日常生活、身近な人、身近なもの、食べ物、動物、遊び、音、わらべうたなど。
 - ストーリーがシンプルで、満足のいく展開になっているか。
繰り返し、出会いや発見、知る喜びなど。
 - 乳幼児が言葉に出会い、獲得していく過程において、ふさわしい言葉であるか。

簡潔で美しい言葉、心地よいリズムなど。
なお、評価の定まった作品のリストは、収集方針とは別に公開する。

イ 文学

- (ア) 豊かな想像力を養えるもの、子どもの視野を広げて、「読む」楽しさを伝え、より高度な読書の世界へと誘えるものを中心に幅広く収集する。
- (イ) 各ブックリスト、書評誌等にあげられた資料を収集する。基本的な資料は複本を用意する。
- (ウ) 評価の定まった作家の作品は、積極的に収集する。
- (エ) 子どもに人気のある作品に留意して収集する。
なお、評価の定まった作品のリストは、収集方針とは別に、公開する。

ウ 昔話、神話、伝説

- (ア) 子どもの文学としての、昔話がおもしろさ、ふしぎさ、美しさ、訴える力の強さ、与える喜びの深さを評価し、民俗学の一分野としてではなく、子どもの文学として昔話を積極的に位置づけ、収集する。
- (イ) 各国、各地方の資料を幅広く収集する。

エ ノンフィクション

- (ア) 科学への興味を呼びおこし、科学的な考え方やものの見方を育て、将来へ向けて子どもの視野を広げる資料を収集する。
- (イ) 幼児から中学生までの、知識、学習、趣味、娯楽に役立つ資料を収集する。
- (ウ) 利用が集中する分野は、積極的に収集する。

オ総記からス言語までの各分野の重点項目は、各項目ごとに列記する。

オ 総記

- (ア) 子どもたちの宿題や調べ学習、自由研究等にこたえられるよう、百科事典を中心に、調査研究のための資料を収集する。
- (イ) 子どもにもわかりやすい、コンピュータ、インターネット等に関する資料を収集する。

- 百科事典（031）
- 年鑑（059）
- コンピュータ、インターネット（007）
- 読書（019）

カ 哲学（哲学、心理学、宗教）

- （ア）出版点数が少ないが、わかりやすい哲学、倫理、思想、宗教の資料を収集する。
- （イ）子どもたちの悩みにこたえられる人生論や心理の資料を収集する。

キ 歴史（歴史、伝記、地理）

- （ア）利用も多く、出版点数も多いので、体系的に収集する。
 - （イ）社会科学習との関連に留意して資料を収集する。
 - （ウ）利用の多い資料については、複本を用意する。
 - （エ）図版、写真、イラスト等を使った資料に留意する。
 - 日本史、世界史（200～270）
 - a 各種年表、事典、地図等を収集する。
 - b この分野の児童書の内容を補い、子どもの高度な知識欲や質問にこたえるため、必要に応じて成人の一般書も収集する。
 - c 考古学や人類学の新しい成果をとりいれた古代史の資料に留意する。
 - d 戦争の記録は、利用が多いので積極的に収集する。
 - e 服装や住居などの生活文化の歴史は利用が多いので、図版のある資料を中心に積極的に収集する。
 - 伝記（280）
 - a より多くの人物に、多様な観点からアプローチできるように幅広く収集する。
 - b 幼年向伝記は、評価のわかれるところであるが、利用状況に応じて収集する。
- 他の主題に分類される人物の伝記についても留意して収集する。
- 地理（290）
 - a 日本国内の各地域および各国の資料を体系的に収集する。最新の資料に留意する。
 - b 各地の特色ある産業や伝統工業については、利用が多いので収集する。
 - c 修学旅行に役立つ旅行案内等を収集する。
 - d 地図は冊子形態のものと併せて、必要に応じて一枚ものも収集する。
 - e 探検記に留意する。

ク 社会科学（政治、法律、経済、統計、教育、民俗、軍事）

- （ア）子どもの社会に対する見方を広げ深める資料を体系的に収集する。
- （イ）社会科学習に役立つ資料を収集する。
- （ウ）社会の新しい動向について記述されている資料に留意する。

(エ) 多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

- 政治（３１０）
 - ・ 日本と世界の動き
 - ・ 政治とくらし
 - ・ 行政組織
 - ・ 選挙、議会、自治体
 - ・ 民主主義
 - ・ 外交、国際問題
 - ・ 民族問題、難民
 - ・ 原爆、戦争と平和
 - ・ 国際連合
- 法律（３２０）
 - ・ 憲法
 - ・ 裁判
 - ・ 国際機関
- 経済（３３０）
 - ・ 日本と世界の動き
 - ・ 経済とくらし
 - ・ 通貨
 - ・ 金融
- 財政（３４０）
 - ・ 税金
- 統計（３５０）
 - ・ 各種の統計
- 社会（３６０）
 - ・ 社会問題
 - ・ 新聞、テレビ、マスコミ
 - ・ 同和問題
 - ・ 労働問題、職業案内
 - ・ 女性問題、女性史
 - ・ L G B T
 - ・ 社会福祉
 - ・ 災害
特に、地震、津波、防災に関する資料に留意する。
 - ・ ボランティア

- 教育（３７０）
 - ・ 学習方法
 - ・ 教科書
 - ・ 学校新聞、学校放送
 - ・ 学校生活、生徒会
 - ・ 進路
 - ・ 点字、手話
- 民俗（３８０）
 - ・ 年中行事、風俗習慣
 - ・ 衣食住の歴史
 - ・ 冠婚葬祭、エチケット
- 軍事（３９０）
 - ・ 兵器
 - ・ 自衛隊

ケ 自然科学（数学、物理学、化学、天文学、地球科学、生物学、医学）

- （ア）利用が多く、出版点数も多い分野なので、子どもに科学的な物の見方、考え方を育てる資料を基本に体系的に収集する。
- （イ）科学・技術の進歩にあわせ、内容の新しさに十分留意する。
- （ウ）子どもの旺盛な知識欲にこたえられるよう幅広い多様なテーマの資料を収集する。
- （エ）自然に対する興味や関心をふかめ、子どもと自然とのふれあいの手引となるような資料を収集する。
- （オ）子どもの発達段階に応じた資料をそろえる。幼児向の科学絵本も収集する。

- 科学総記（４００）
 - ・ 科学の歴史
 - ・ 事典、年鑑、年表、図鑑
 - ・ 理科工作、理科実験
 - ・ 自然観察
 - ・ 科学クイズ
 - ・ 自由研究

自由研究については利用が多いので、他の分類との関連も留意して収集する。

- 数学（４１０）
- 物理学（４２０）
- 化学（４３０）

- 天文学、宇宙科学（４４０）
 - ・ 星座、天体観測
 - ・ 天体写真集

子どもの関心が高いため、成人の一般書からも収集する。
- 地球科学（４５０）
 - ・ 気象、天気

地球温暖化や地震など、環境、防災に関わることに留意して収集する。
 - ・ 地質、岩石
 - ・ 恐竜、化石
 - ・ 海洋
- 生物科学（４６０）
 - ・ 生物の歴史
 - ・ 人類の歴史
 - ・ 生物の生態
- 植物学（４７０）
 - ・ 野草、植物採集
 - ・ 植物図鑑

園芸との関連に留意して収集する。
- 動物学（４８０）
 - ・ 動物の生態

子どもに人気のある動物に留意する。
 - ・ 動物図鑑
 - ・ 昆虫採集、昆虫図鑑
 - ・ 魚の図鑑
 - ・ 鳥の図鑑、野鳥観察

畜産、ペットの飼い方（６４５）との関連に留意して収集する。
- 医学（４９０）
 - ・ 人体
 - ・ 医療とくらし
 - ・ 性
 - ・ 公害病
 - ・ 体と栄養
 - ・ 食育

コ 技術（工学、工業、家政学）

（ア）子どもたちに知的刺激を与え、創造や制作への意欲を高めるような、科学技術とその応用について、わかりやすく書かれた資料を収集する。

（イ）社会科、理科、技術、家庭科の学習に役立つ資料を収集する。

（ウ）工作や料理・手芸等の分野では、子どもたちが心から楽しみ遊べるような娯楽性、実用性の高い資料を収集する。

（エ）科学技術の進展にあわせ、新しい内容の資料に留意する。

■ 技術総記（５００）

- ・ エネルギー
- ・ 発明発見
- ・ 技術の歴史
- ・ 各種の工作
- ・ オモチャ、模型、ラジコン
- ・ 日本の工業、世界の工業

■ 土木工学（５１０）

- ・ ゴミ問題
- ・ リサイクル
- ・ 公害、環境問題

環境問題は利用が多いので、積極的に収集する。

■ 建築学（５２０）

- ・ 日本の建築、世界の建築

■ 機械工学（５３０）

- ・ 各種の乗り物図鑑
- ・ 自転車、自動車
- ・ 飛行機、ロケット
- ・ 電車
- ・ 宇宙開発、宇宙旅行
- ・ 原子力

放射線、放射能、原子力発電等の最新の資料に留意する。

■ 電気工学（５４０）

- ・ 電車、機関車
- ・ オーディオ、ラジオ、テレビ
- ・ ロボット

■ 海洋工学（５５０）

- ・ 船

■ 金属工学（５６０）

- 化学工業（５７０）
 - ・ 石油
- 製造工業（５８０）
 - ・ 食品工業
- 家政学（５９０）
 - ・ 生活の科学
 - ・ 衣服
 - ・ 手芸
 - ・ おしゃれ
 - ・ 料理
 - ・ インテリア

サ 産業

(ア) 特に社会科学習と大きくかかわり、レファレンスの多い分野なので、教科学習に役立つ多様な資料を収集する。

(イ) ペットの飼い方や草花の栽培は、実用性の高い資料を収集する。

(ウ) 情報化社会など産業界の新しい動向にふれた資料に留意する。

- 産業総記（６００）
 - ・ 日本の産業、世界の産業
 - ・ 国土づくり
- 農業（６１０）
 - ・ 日本の農業
 - ・ 農業の歴史
 - ・ 農家のくらし
 - ・ 農産物
 - ・ 食糧問題
 - ・ 米
- 園芸（６２０）
 - ・ 草花、野菜、果物
- 蚕糸業（６３０）
- 畜産業（６４０）
 - ・ 動物の飼育、ペットの飼育
 - ・ 子どもに人気のある動物に留意する。
- 林業（６５０）
 - ・ 日本の林業
- 水産業（６６０）

- ・ 日本の水産業
- 商業（６７０）
 - ・ 日本の商業
 - ・ 商業の歴史
 - ・ 貿易
- 運輸、交通（６８０）
 - ・ 交通の歴史
 - ・ 鉄道
- 通信（６９０）
 - ・ 郵便
 - ・ 電話
 - ・ テレビ放送、ラジオ放送

シ 芸術

- (ア) 各分野の基本書を体系的に収集する。
- (イ) 子どもたちが心から楽しみ遊べるような、娯楽性、実用性の高い資料を収集する。
- (ウ) 子どもたちの趣向や流行に留意し、最新情報を提供できるよう資料を収集する。
- (エ) 図版、写真、イラストを使用した資料に留意する。
- (オ) 利用の多い分野なので、必要なものを積極的に収集する。
 - 芸術総記（７００）
 - ・ 美術の歴史、美術家
 - ・ 彫刻、絵画、版画、写真などの作品集
 - ・ 美術鑑賞
 - 彫刻（７１０）
 - ・ 彫刻の鑑賞
 - ・ 彫刻の技法
 - ・ 仏像
 - 絵画（７２０）
 - ・ 絵画の鑑賞
 - ・ 絵画のかき方
 - ・ まんがのかき方
 - ・ 図案
 - ・ 習字、書道
 - 版画（７３０）

- ・ 版画の鑑賞
- ・ 版画の技法
- 写真（740）
 - ・ 写真の鑑賞
 - ・ 写真のとり方
- 工芸（750）
 - ・ 工芸品の鑑賞
 - ・ 工芸の技法
 - ・ 折り紙
 - ・ 工作
- 音楽（760）
 - ・ 音楽の歴史、音楽家
 - ・ 楽器演奏法
 - ・ 作曲
 - ・ 歌集、楽譜集
 - ・ 童謡、わらべうた、手あそびうた
 - ・ 邦楽
 - ・ バレエ
 - クラシックのほかポピュラー音楽にも留意する。
- 演劇、映画（770）
 - ・ 演劇の歴史
 - ・ 学校演劇、児童劇
 - ・ 伝統芸能
 - ・ 各種の脚本集
 - ・ 人形劇、影絵、ペープサート
 - ・ 映画
 - ・ アニメーション
 - ・ 落語
 - ・ 手品
- スポーツ（780）
 - ・ あそび、レクリエーション
 - ・ 体操
 - ・ 陸上競技
 - ・ 球技
 - ・ スキー、スノーボード、スケート
 - ・ 水泳、サーフィン

- ・ 登山、キャンプ、ハイキング、サイクリング、野外レクリエーション
- ・ つり
- ・ 武道、格闘技
- ・ 障がい者スポーツ
- 諸芸、娯楽（790）
 - ・ 囲碁
 - ・ 将棋
 - ・ トランプ、かるた
 - ・ あやとり、なぞなぞ、ゲーム
 - ・ ダンス

ス 言語

- (ア) 出版点数の少ない分野だが、国語および外国語の学習に役立つ資料を中心に収集する。
- (イ) 外国語は英語を収集する。
 - 言語（800）
 - ・ 文字
 - ・ 話し方
 - 日本語（810）
 - ・ 漢字
 - ・ 各種の辞典
 - 国語、漢字、古語、外来語、語源、反対語
 - ・ 文法
 - ・ ことわざ
 - ・ 作文の書き方、手紙の書き方
 - ・ 方言
 - 英語（830）

セ 地域資料

- (ア) 子どもの調査研究に役立つよう、地域に関する資料を収集する。
- (イ) 藤沢を主題とした資料に重点をおき、必要に応じて隣接地域、神奈川県全体を概観できる資料を収集する。
- (ウ) 社会科学習との関連に留意し、学校や教育委員会関係部署からの情報等を参考にして、資料を収集する。
- (エ) 利用が集中する主題や資料については、複本や類書を十分に収集する。
- (オ) 成人向け資料であっても、子どもの利用に適する資料は収集する。

ソ 紙芝居

- (ア) 紙芝居は絵本と異なる魅力を持っている。
- (イ) 一冊の絵本がひとりの世界になるのに対し、一組の紙芝居は多数の子どもたちを一挙にその世界にひきこむことができる。子どもは紙芝居を演じてもらうのも、自分で演じるのも好きである。
- (ウ) 紙芝居は、子どもに大きな影響力を持っているといえるが、紙芝居の出版点数はまだそれほど多くない。
- (エ) 紙芝居は、以下の点に留意して幅広く収集する。
 - a 紙芝居の「ぬく」という性質を十分に生かしたもの。
 - b 画面の絵と語られる文が調和しているもの。
 - c 子どもの生活に密接した題材をあつかったもの。
 - d 子どもの生活を高められるもの。
 - e 子どもの想像の世界を広げられるもの。
 - f すぐれた紙芝居については、積極的に収集する。

タ まんが

「漫画は子どもの夢の器なのだ一時がうつれば、子どもの夢もかわる。そのうつろいゆく夢を先どりする才能と、子どもの夢にこたえきろうとする熱意によって、漫画は描きつづけられてきたのである。すさんだ夢を夢みる子どももいれば、たわいのない息ぬきを求める子どももいる。怒りや不安をしずめる安息を求める子ども、未来へのはてしない可能性に眼を輝かす子どももいる。そういう子どもたちの雑多な、圧倒的な夢を、漫画は包摂しつづけられてきたのだ」

(『子ども漫画の世界』 斎藤次郎著)

- (ア) 子どもの“夢の器”として、生き続けてきたまんがを、子どもの文化財として評価し、収集する。
- (イ) まんがが、子どもの文化の域を脱して、広い一般文化の中で、評価されるようになるにしたがって、ストーリー、テーマ、素材の抽象化（扱い方）等から、読者を子どもと限らない作品も多く生まれつつある。それらの作品はヤング・アダルトおよび一般書として収集することにし、児童書としては、次の選択基準で資料を収集する。
 - a 素材のよさ
 - b アイデアの新しさ
 - c テーマからくる思想性の豊かさ

- d まんが独自のもつユーモア
 - e あたたかい情感
 - f まんが独自の批判精神
 - g 総合して、今日の子どもの心を豊かにするものであるかどうか。
- (ウ) まんがの選書等に関する資料・情報等は、他のサービスポイント等の選書の参考に提供する。

チ 児童資料研究

- (ア) 児童資料研究のための研究資料を収集する。
- (イ) 学校や子どもに関わる施設・団体等に携わる人たちのために、児童文学だけでなく関連資料として、児童文化全般の中から必要なものを幅広く収集する。
- (ウ) 「おはなし」(ストーリーテリング) のテキストになる資料を収集する。
- (エ) 図書だけでなく、雑誌やパンフレット類も収集する。

基本図書の収集にあたって参考とするブックリスト書評誌等 (2020.3)

- 子どもの図書館の手引き 改訂版
千葉県立中央図書館編 千葉県公共図書館協会
- どの本よもうかな 子どものための 1,700 冊
日本子どもの本研究会編 草土文化
- この本だいすき第 1 集 子どもとえらんだ 100 冊の本
小松崎進編 びわの実書房
- この本だいすき第 2 集 子どもとえらんだ 100 冊の本
同上
- 児童文学マニュアル 1982
今江祥智ほか編 偕成社
- 児童文学マニュアル 1983
同上
- 児童文学マニュアル 1984
同上
- 年報 こどもの図書館 1981
児童図書館研究会編 日本図書館協会
- 学校読書調査 25 年 あすの読書教育を考える
毎日新聞社
- 日本の児童図書賞 1947-1981 解題付受賞作品総覧
東京子ども図書館編・発行
- 日本の児童図書賞 1982
同上

- 児童文学 1976
今江祥智他 聖母女学院短大
- 読書案内 小学校編
日本文学協会編 大修館
- どの本よもうかな？ 小学校1・2・3年生
日本子どもの本研究会編 国土社
- どの本よもうかな？ 小学校4・5・6年生
同上
- どの本よもうかな？ 中学生
同上
- 子どもの本と読書の事典
日本子どもの本研究会編 岩崎書店
- おはなしのリスト
東京子ども図書館編・発行
- おはなしの本
同上
- 絵本と童話 子どもの心を育てる本の世界
渋谷清視 文化書房博文社
- 私たちの選んだ子どもの本 新版
東京子ども図書館編・発行
- 図説 図書館のすべて
図書館問題研究会編著 ほるぷ総連合
- 世界の絵本100選 改訂 日本児童文学別冊
日本児童文学者協会編 偕成社

- 日本の絵本 100 選 改訂 日本児童文学別冊
同上
- 子どもと絵本 月間絵本別冊
すばる書房
- えほん 子どものための 300 冊
日本子どもの本研究会編 草土文化
- えほんのもくろく新版
児童図書館研究会編 日本図書館協会
- 子供に読んで聞かせたい絵本
母と子の本の会編 辰巳出版
- 絵本の本棚 受け手と作り手が選んだ 200 冊 月刊絵本別冊
すばる書房
- 日本児童文学名著事典
瀬沼茂樹ほか編 ほるぷ出版
- 日本児童文学 100 選 日本児童文学別冊
日本児童文学者協会編 偕成社
- 世界児童文学 100 選 日本児童文学別冊
日本児童文学者協会編 偕成社
- 戦争児童文学 350 戦争を知らない子どもたちへ
石上正夫ほか編 あゆみ出版
- 子どものための伝記の本
矢野四年生著 いずみ書房（くさぶえ文庫）
- 子どものための科学の本
吉村証子著 いずみ書房（くさぶえ文庫）

- 科学読み物を選ぶ資料（分野別）
荒川弘美ほか編 科学読み物研究会
- 科学の本はむずかしくない 子どもと科学を結ぶ読み物 200 選
科学読み物研究会編・発行
- 科学の本っておもしろい 子どもの世界を広げる 250 冊の本
科学読み物研究会編 連合出版
- 子ども漫画の世界
斉藤次郎著 現代書館（子どもの文化叢書）
- 父母・教師・子どものための新・漫画選 182
石子順ほか編 子どもの文化研究所
- 紙芝居・かみしばい 月刊絵本別冊
すばる書房
- 子どもの本のリスト 「こどもとしょかん」新刊あんない
1990～2001 セレクション
公益財団東京子ども図書館
- 絵本の庭へ（児童図書館基本蔵書目録 1）
公益財団東京子ども図書館
- 子どもの本～この 1 年を振り返って～
NPO 図書館の学校
- えほんのせかいこどものせかい
松岡享子著 日本エディタースクール出版部
- 絵本はともだち
中村柁子著 福音館書店
- このほんよんで！—1 歳から 6 歳までの絵本—改訂版
調布市立図書館編集 調布市立図書館

- 小学生にすすめる本
調布市立図書館編集 調布市立図書館
- 学校図書館基本図書目録
全国学校図書館協議会基本図書目録編集委員会編
全国学校図書館協議会
- 物語の森へ
東京子ども図書館編 東京子ども図書館

(書評掲載誌)

- 子どもとしゃかん
東京子ども図書館編・発行
- 子どものしあわせ
日本子どもを守る会編・草土文化
- 子どもと読書
親子読書・地域文庫全国連絡会編 岩崎書店
- 月刊子どもの本棚
日本子どもの本研究会編・発行
- 季刊 子どもの本棚 (～No.32 休刊)
日本子どもの本研究会編 明治図書
- 子どもの館 (～No.118)
松居直編 福音館書店
- 科学読み物研究会会報
中川宏ほか編 科学読み物研究会
- 新刊ニュース
トーハン
- 書評年報 文学・芸術・児童
書評年報刊行会編・発行
- 季刊 図書館の学校
公益財団法人図書館振興財団
- 月刊 こどもの本
日本児童図書出版協会

8 ヤングアダルト資料

- (1) なぜ青少年ではなくてヤングアダルト（若い大人）なのか。
- (2) 若い大人としてこの世代を尊重し受けとめていくこと、そして、活字文化だけでなくテレビ、インターネット等の様々なメディアにより育っている彼らに対して、図書館は以下のように、幅広い資料を収集する。
- (3) ヤングアダルトのコーナーは、子どもから大人へと心身共に成長していく十代に、興味のある情報・資料を用意して、図書館への親しみを持たせ、図書、音楽、映像の豊かな世界を紹介する。

ア 図書資料

(ア)「今」という時に、さまざまな充足を求める若い人たちのために、興味や関心のある情報を主題とした図書を幅広く収集する。部活動に関する資料、ヤングアダルトが主となる対象として出版された資料等に留意する。次のような分野に重点をおく。以下、日本十進分類法第1次区分順に列記する。

- 0 総記
 - ・ コンピュータ、インターネット
 - ・ 読書案内
- 1 哲学
 - ・ 占い、心理学
- 2 歴史、地理
 - ・ レジャー、観光ガイド
- 3 社会科学
 - ・ 進路、仕事
- 4 自然科学
 - ・ 科学
- 5 技術
 - ・ オーディオ
 - ・ ファッション
 - ・ 手芸
 - ・ 料理
 - ・ インテリア
- 6 産業
 - ・ ペット
- 7 芸術

- ・ 美術
- ・ イラストレーション
- ・ 絵本、まんが
- ・ 写真、カメラ
- ・ 音楽
- ・ 芸能
- ・ 演劇
- ・ 映画、アニメーション
- ・ スポーツ
- ・ アウトドア
- ・ ゲーム
- ・ ダンス
- 8 言語
 - ・ 英会話
- 9 文学
 - ・ 小説

なお、上記の区分に関わらず、関連する他分野の資料に留意する。

- (イ) 若い人たちに今も深い感銘を与え読みつがれている本、あるいは、現在の若い人に支持されている本、若い人に薦めたい本等を収集して、豊かな読書の世界を紹介する。

イ 雑誌

- (ア) 若い人たちが支持している雑誌を幅広く収集する。

ウ その他

(ア) 地域情報紙

県内の若い人たちが発行している部活動や各種サークルの機関誌、研究誌、卒業記念誌、学校や地域のポスター等を必要に応じて収集する。

(イ) 小冊子

時代に敏感な若い人たちに対して情報を発信しているフリーペーパー等を必要に応じて収集する。

9 視聴覚資料

- (1) 情報化社会の進行にともない、活字以外の媒体の重要性が高まっており、市民が情報・知識・楽しみを得られるよう視聴覚資料を収集する。
- (2) 視聴覚資料は、幼児から高齢者まで、幅広い利用者の趣向に留意する。
- (3) 視聴覚資料として当面、次のものを収集する。また、社会の状況に応じて最新の媒体に留意する。

ア 映像資料

- DVD
- その他

イ 録音資料

- CD
- その他

- (4) 収集にあたっては、著作権法に留意する。
- (5) 各分野の収集の考え方を以下に述べる。

ア 映像資料

(ア) 学校教育、生涯学習等に役立つ教材や、幼稚園、保育園、子ども会などで利用される作品にも留意する。

(イ) 映像資料は次のジャンルから収集する。

- 劇映画 (A)
 - ・ 内外の主要な映画作家の主要な作品を収集する。
 - ・ 各種の映画祭、コンクール、ランキング等で評価された作品を収集する。
- アニメーション、人形劇 (B)
 - ・ 劇映画に準ずる。
 - ・ 子どもが長期的に楽しめる作品を収集する。
- 音楽 (C)
 - ・ 内外の主要な作曲家、演奏家、歌手等の主要な作品を収集する。(コンサート、オペラ、バレエ等)
- スポーツ (D)
 - ・ 各種スポーツの技術や記録に関する作品および健康増進を目的とした運動等に関する作品を収集する。
- 芸能、美術 (E)
 - ・ 落語や歌舞伎、能などの古典芸能やミュージカルなど幅広いジャンルから主要な作品を収集する。
 - ・ 主要な絵画や美術品等に関する作品の収集に留意する。
- 教養 (F)
 - ・ 歴史、紀行、自然科学等、様々なジャンルから収集する。

- 趣味、生活（G）
 - ・ 様々なジャンルの作品の収集に留意する。
 - ・ 料理、介護、育児など、具体的なくらしの知恵に関する作品を収集する。
- 地域資料（J）
 - ・ 藤沢市および神奈川県歴史、遺跡、現勢を伝える作品を収集する。
 - ・ 市民の制作した作品を収集する。
- その他（K）

<参考>映像資料分類表

A 劇映画	F 教養
1 日本映画	1 歴史・紀行
2 外国映画	2 自然科学
3 児童映画	3 その他教養
B アニメーション・人形劇	G 趣味・生活
C 音楽	H 教材
D スポーツ	1 学校教育
E 芸能・美術	2 社会教育
	J 地域資料
	K その他

イ 録音資料

- (ア) 録音資料については、各種音楽賞の受賞作品や各国、各分野の代表的な作品、各年代のヒット作、話題作に留意して収集する。
- (イ) 同じタイトルであっても演奏家、出演者等が異なる作品の収集に留意する。
- (ウ) 録音資料は次のジャンルから収集する。

- クラシック
 - ・ 交響曲（1 A）、管弦楽曲（1 B）、協奏曲（1 C）、室内楽曲（1 D）、独奏曲（1 E）、歌劇（1 F）、声楽曲（1 G）、音楽史（1 H）、現代音楽（1 J）、全集（1 Z）
 - ・ 内外の主要な作曲家、演奏家、歌手等の主要な作品を収集する。
 - ・ 同じタイトルであっても演奏家、指揮者等が異なる作品の収集に留意する。
- ポピュラー
 - ・ ヴォーカル（2 A）、ブルース・ソウル（2 B）、カントリー・フォーク（2 C）、シャンソン・カンツォーネ（2 D）、ジャズ（2 E）、ロック（2 F）、ラテン（2 G）、ムード・映画音楽（2 H）、日本のポ

ピュラー（２ J）、全集（２ Z）

- ・ 各分野の代表的な作品、各年代のヒット作、話題作に留意して収集する。

■ 邦楽

- ・ 邦楽（３ A）、日本民謡（３ B）、唱歌・軍歌・寮歌（３ C）、外国の民族音楽（３ D）、教材・フォークダンス（３ E）、児童向音楽（３ F）、その他（３ Y）、全集（３ Z）
- ・ 邦楽は、雅楽、仏教音楽、能、狂言、箏、尺八、三味線等、伝統芸能に留意して収集する。
- ・ 日本民謡は、各地の日本民謡を収集する。
- ・ 教材、フォークダンスは、運動会等の学校行事に役立つ作品を収集する。
- ・ 児童向音楽は、童謡、アニメ、テレビ、むかし話等を収集する。

■ その他

- ・ 演芸（４ A）、文芸（４ B）、演劇（４ C）、語学（４ D）、記録（４ E）、効果音（４ F）、オーディオチェック（４ G）、その他（４ Y）、全集（４ Z）
- ・ 同じタイトルであっても出演者等が異なる作品の収集に留意する。
- ・ 演芸は、落語、浪曲、講談、漫才、詩吟等、幅広いジャンルから収集する。

■ 地域

- ・ 藤沢・神奈川（５ A）
- ・ 藤沢市および神奈川県に関する作品や藤沢市民に関する作品を収集する。

<参考>録音資料分類表

1 クラシック

- A 交響曲
- B 管弦楽曲
- C 協奏曲
- D 室内楽曲
- E 独奏曲
- F 歌劇
- G 声楽曲
- H 音楽史
- J 現代音楽
- Z 全集

2 ポピュラー

- A ヴォーカル
- B ブルース・ソウル
- C カントリー・フォーク
- D シャンソン・カンツォーネ
- E ジャズ全般
- F ロック
- G ラテン
- H ムード・映画音楽
- J 日本のポピュラー
- Z 全集

3 邦楽

- A 邦楽
- B 日本民謡
- C 唱歌・軍歌・寮歌など
- D 外国の民俗音楽
- E 教材・フォークダンスなど
- F 児童向音楽
- Y その他
- Z 全集

4 その他

- A 演芸・落語など
- B 文芸・CDブックなど
- C 演劇
- D 語学
- E 記録
- F 効果音
- G オーディオチェック
- Y その他
- Z 全集

5 地域

- A 1 藤沢
- A 2 神奈川

10 雑誌

- (1) 雑誌は最新の情報が得られる資料なので、市民のくらしや楽しみに役立つもの、調査研究に役立つものを幅広く収集する。
- (2) 各分野の基本的な雑誌を、収集する。
- (3) 市民の趣向や流行に留意する。
- (4) 雑誌はヤングアダルトの活発な利用が想定できるので、ヤングアダルトの趣向に留意する。
- (5) 年度途中の創刊誌も、市民の要求を考慮して収集する。
- (6) 一般の雑誌のほか、政党機関誌も収集する。
- (7) 主要な収集分野は次のとおり。
 - ア 総合雑誌
 - イ 出版情報に関する雑誌
 - ウ 文芸雑誌
 - エ 生活誌
 - オ スポーツ
 - カ レジャー
 - キ 芸術
 - ク 自然科学
 - ケ 政党機関誌
 - コ 藤沢を中心とした地域ミニコミ誌
 - サ 子ども向け雑誌

1 1 新聞

(1) 主要な日刊紙を中心に各種新聞を収集する。

- ア 全国紙
- イ 地方紙
- ウ 経済紙
- エ スポーツ紙
- オ 外国語新聞
- カ 政党機関紙
- キ 出版情報紙
- ク 近隣自治体の自治体広報
- ケ 藤沢を中心とした地域ミニコミ紙
- コ 各種団体等の機関紙、公報紙
- サ 子ども向け新聞

1986年（昭和61年）10月制定

1997年（平成9年）4月改訂

2000年（平成12年）7月改訂

2009年（平成21年）3月改訂

2020年（令和2年）3月改訂